

新日軽

ピュアーテラス

WALL EXTERIOR

別売部材・部品 施工マニュアル

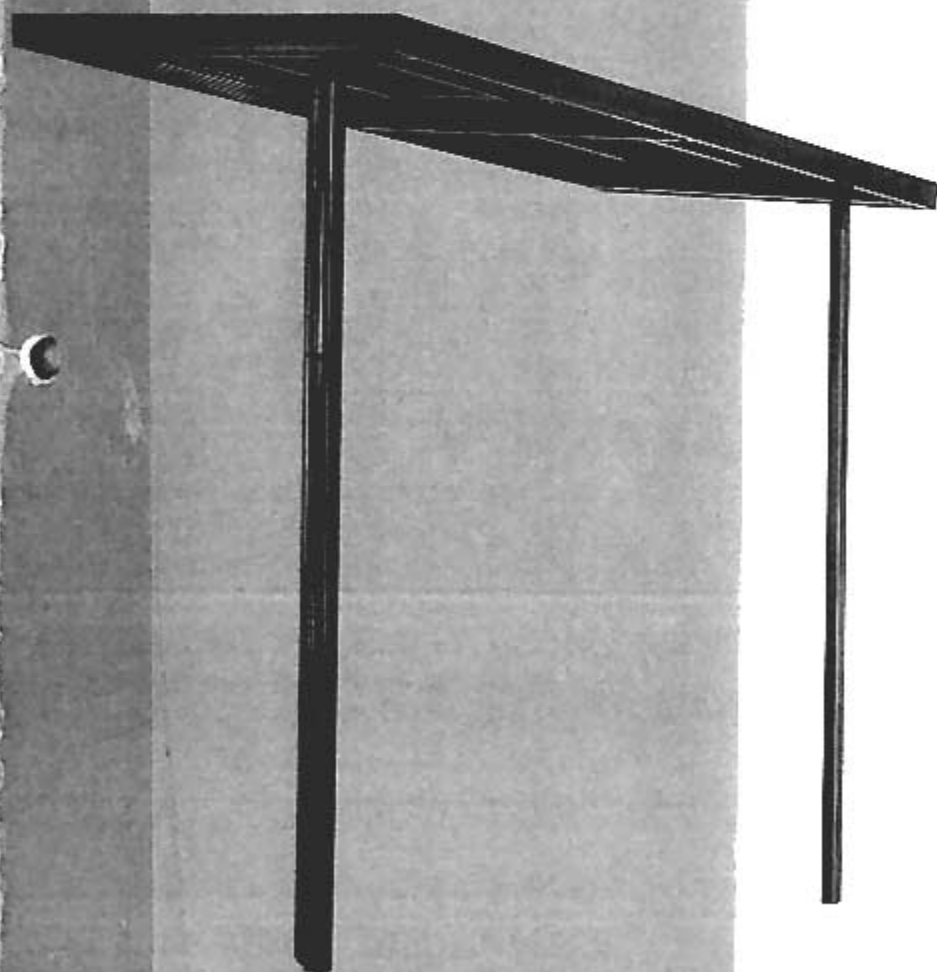
■使用上の注意事項

■強度条件

■基本断面図

■部材・部品一覧表

■加工・取付方法



施工マニュアル

目次

- 使用上の注意事項 . . .
- 強度条件
- 基本断面図
- 部材一覧表
- 部品一覧表
- 部品図
- 加工図
- 部品取付図
- 組立図
- 取付方法

当 別売部材・部品をご使用の際は以下の点にご注意ください。

- (1) 設計・加工・組立・施工にあたっては、当マニュアルに従ってください。
- (2) 部材には、強度・安全性を考慮して部材の最大寸法やピッチ等の制作限界を規定しています。
制作限界を厳守してください。
- (3) 柱・垂木・けた・前枠・側枠等の部材の継ぎ足しはしないでください。
- (4) 部材は加工図に基づき規定寸法・規定ヶ所の加工をしてください。
特にビスの下孔径及び数量については規定を厳守してください。
- (5) ピュア-テラスは建物に積もった雪が落ちない位置に取り付けてください。
やむをえない場合は建物の屋根に雪止めを取り付けてください。
- (6) 屋根には光を反射するシート（銀色フィルム等）を貼らないでください。
太陽光線の反射作用により軒先等を燃やすおそれがあります。

使用上の注意事項

1.取付け方法

- (1) 柱の埋め込み深さについて
- 1型、3型、4型テラスは300mm以上、2型テラス600mm以上として下さい。
- (2) 基礎の大きさ及び質量
- 地下埋設物に影響を及ぼさない様に考慮して下さい。
 - 寒冷地の基礎工事は、その地域に合った基礎工事をして下さい。
 - モルタル用に海砂を使用されますと、塩分を多量に含まれていますから、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いたものを使用して下さい。
 - モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ商品の表面を流れないように注意して下さい。
抽出液は強アルカリ性でシミやムラ等の外観不良や腐食の原因になります。
 - モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるもので、使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
 - 施工時にアルミ商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。
また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いに十分注意して下さい。
- (3) 建物などの取り合い方法
- 建物への取付けは必ず柱、間柱、胴差などに固定して下さい。
 - 建物に取付用孔明けをした所には必ずコーキングでシールして下さい。
 - アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか、塗料等で絶縁処理をして下さい。
 - 輸入木材には塩素イオンなどの腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにして下さい。
- (4) 波板の取付方法
- 波板は32波のJIS規格品を使用し、フックで固定して下さい。
- (5) バルコニーに組み合わせて使用する場合について
- テラスは安全上、施工が第一に要求されます。特に屋根置きバルコニーと組み合わせて使用する時、風で吹き上げられますから、必ず吹き上げ補強材を取付けて下さい。
- (6) その他
- 腐食の恐れのある接着材や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ商品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生して下さい。
 - 取付直前まで梱包を解いたり、養生をはがしたりしないでください。

2.維持管理の注意事項

- (1) さびなどの手入れ方法
- テラスは、半年に1~2回ほこりを払い乾拭きしますと一層長持ちがし、美しい色を保ちます。
 - 部品の交換は、メーカー、販売店あるいは施工店に御相談下さい。
 - 万一塗装面を傷つけたときは、メーカー指定の補修塗料又は市販の塗料（アルミの場合はアクリル系塗料）で補修して下さい。
- (2) 硬質塩化ビニール波板及びガラス繊維強化ポリエステル波板の交換について
- 屋根の波板（交換時も）は、JIS製品を御使用下さい。
- (3) 地域別お手入れ回数（参考）

地域	回数
臨海工業地域	年に1~2回
工業・商業・温泉地域	年に2回
海岸・街道地域	年に1~2回
田園・山間地域	年に1回

3.使用上の注意事項

- (1) 積雪時の注意事項
- 1型、3型、4型は、積雪20cm以下で雪降ろしをして下さい。
 - 2型は50cm以下で雪降ろしをして下さい。
- (2) 屋根上での注意事項
- 屋根に登ったり足を掛けたりしないで下さい。
- (3) 商品全般について
- アルミ型材の接合部や端部等がその構造上、角張っているため手や足を切ったり、衣服を引っ掛けたりする事がありますのでご注意下さい。
 - 各商品の取付け、分解等は、その性能や安全性を維持するため、充分な取扱い経験を有する専門職以外の方は絶対にこれを行なわないでください。
 - 商品に貼付されている注意・取扱い説明のラベル等は、これをはがさないで下さい。

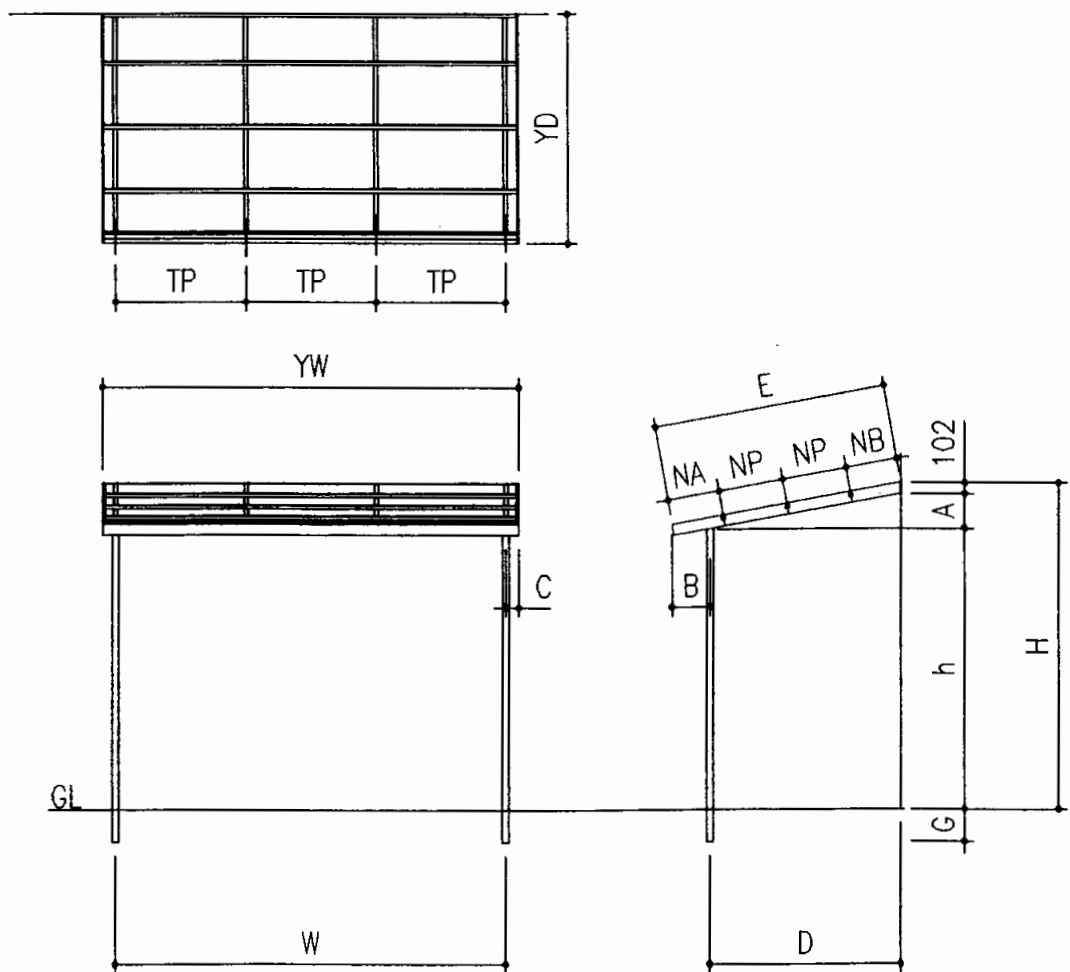
強度条件

制作上の厳守事項

(1) 各タイプの最大サイズ・強度は、以下の通りです。

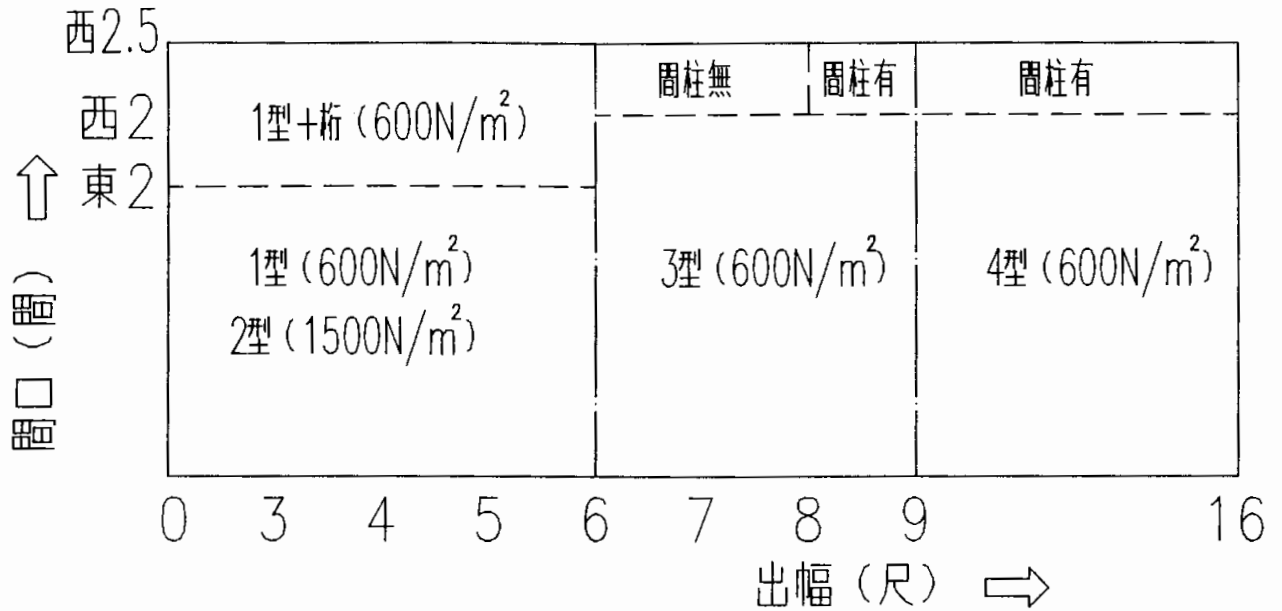
タイプ	JISラック	荷重 kg/m^2	間口 mm	奥行 mm	柱 mm
ピュアテラス1型	600	61.2	W=3644	D=1765	h=3200
ピュアテラス2型	1500	153	W=3644	D=1765	h=3200
ピュアテラス3型	600	61.2	W=4998	D=2665	h=3200
ピュアテラス4型	600	61.2	W=4998	D=4765	h=3200

(2) 各部材の押さえ寸法は、下図の通りです。



強度条件

(3) 各タイプの実制作限界は、下図の通りです。



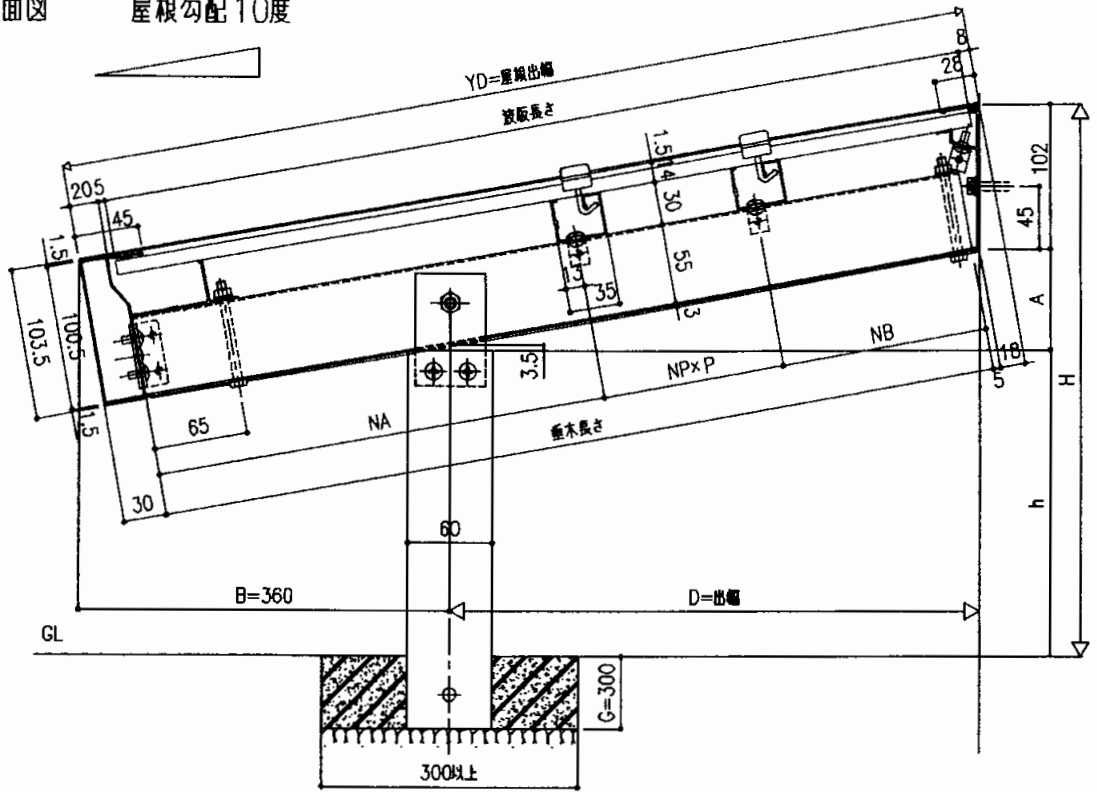
(2) 各部材の最大ピッチは、下記の通りです。

タイプ	垂木(波板)
1型	1215
2型	912
3型	998
4型	998

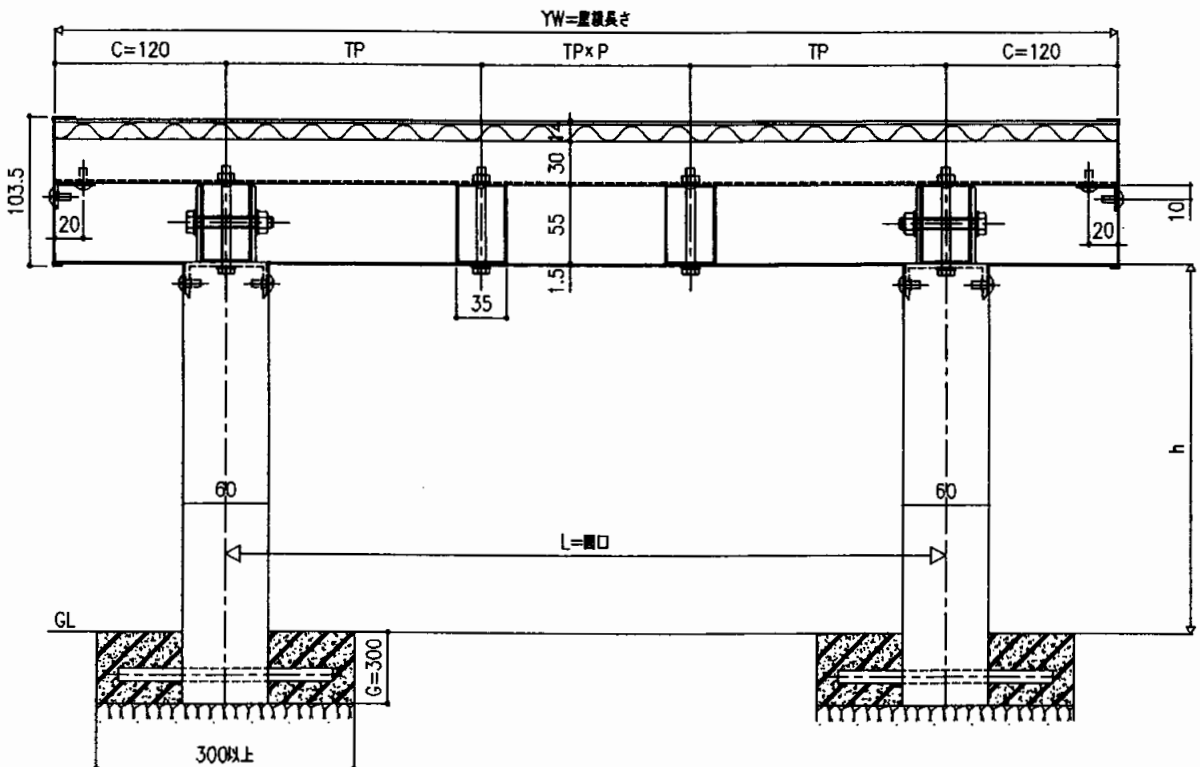
野縁(屋根)	野縁(前面)
600	450
600	450
600	450
600	450

□ 1型基本納まり図（屋根材：波板） $S=1/5$

○ たて断面図 屋根勾配 10度

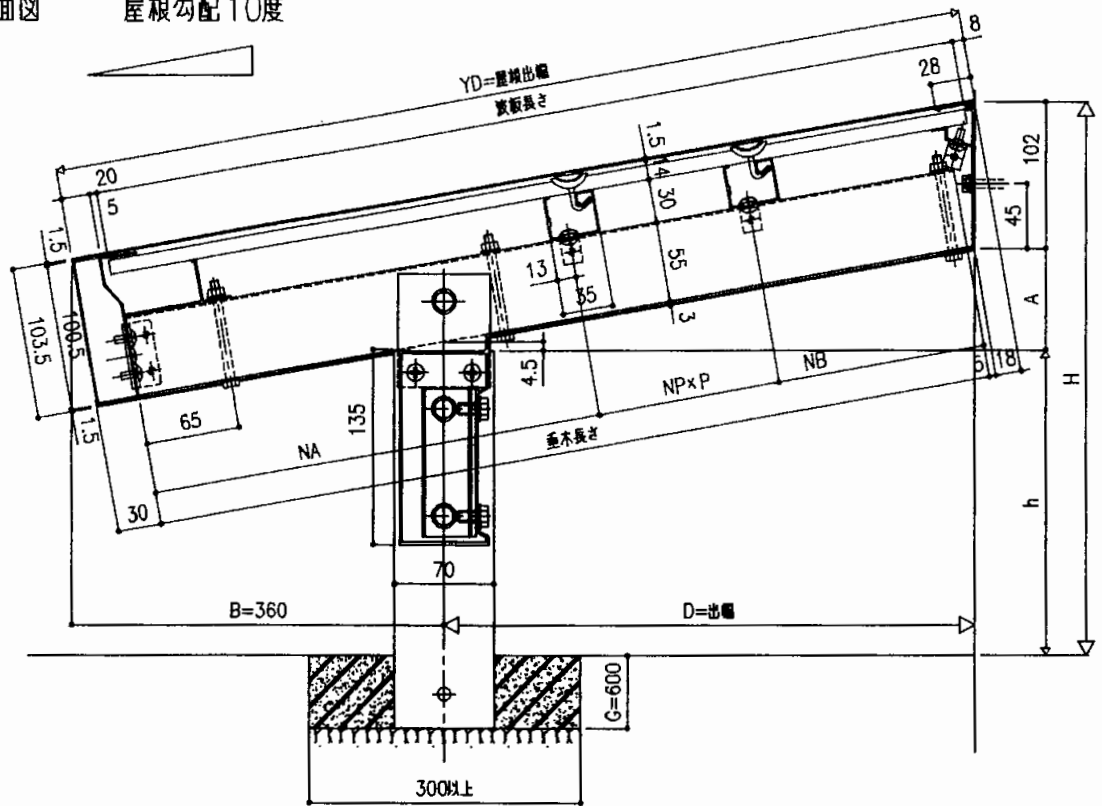


○ よこ断面図

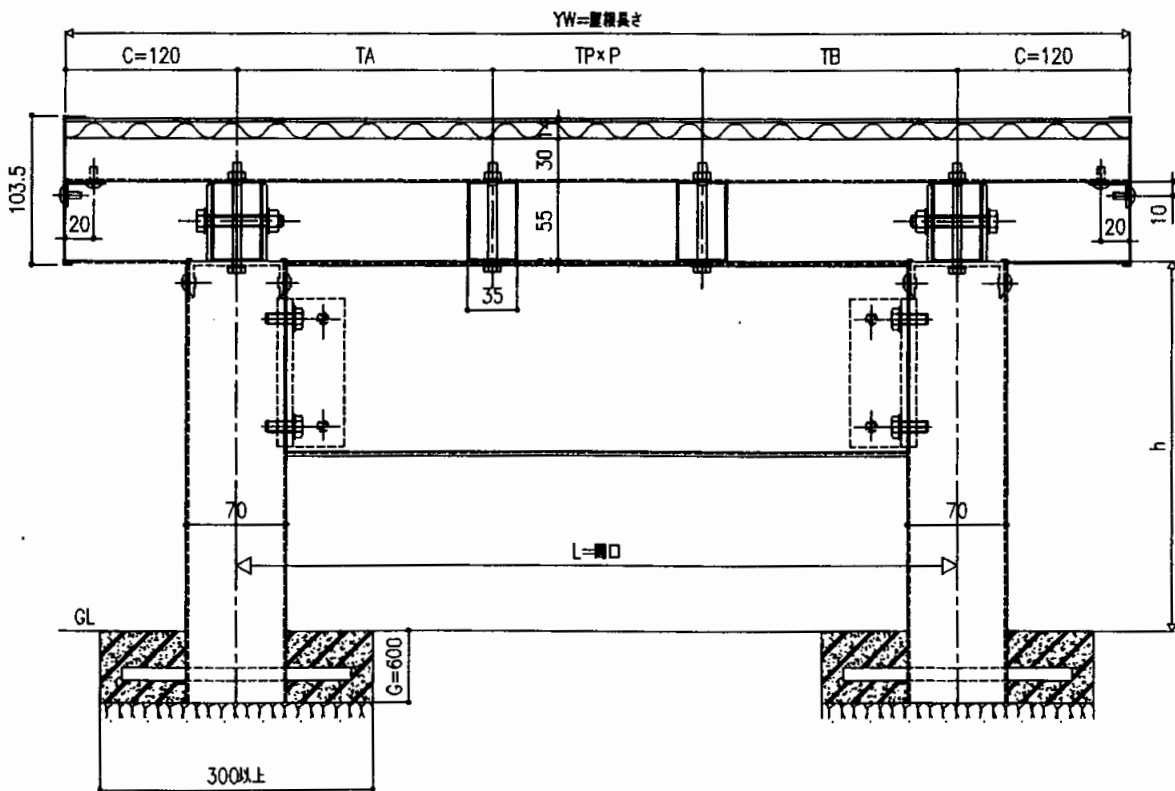


□ 2型基本納まり図 (屋根材: 波板) $S=1/5$

○ たて断面図 屋根勾配10度

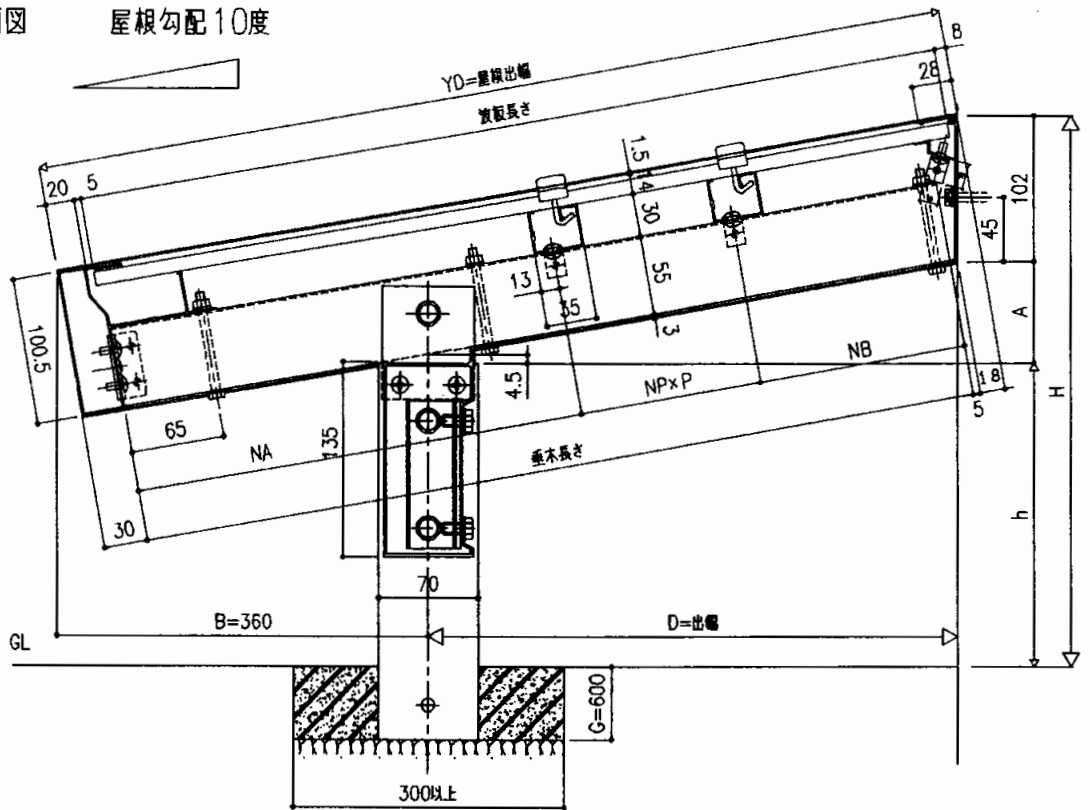


○ よこ断面図

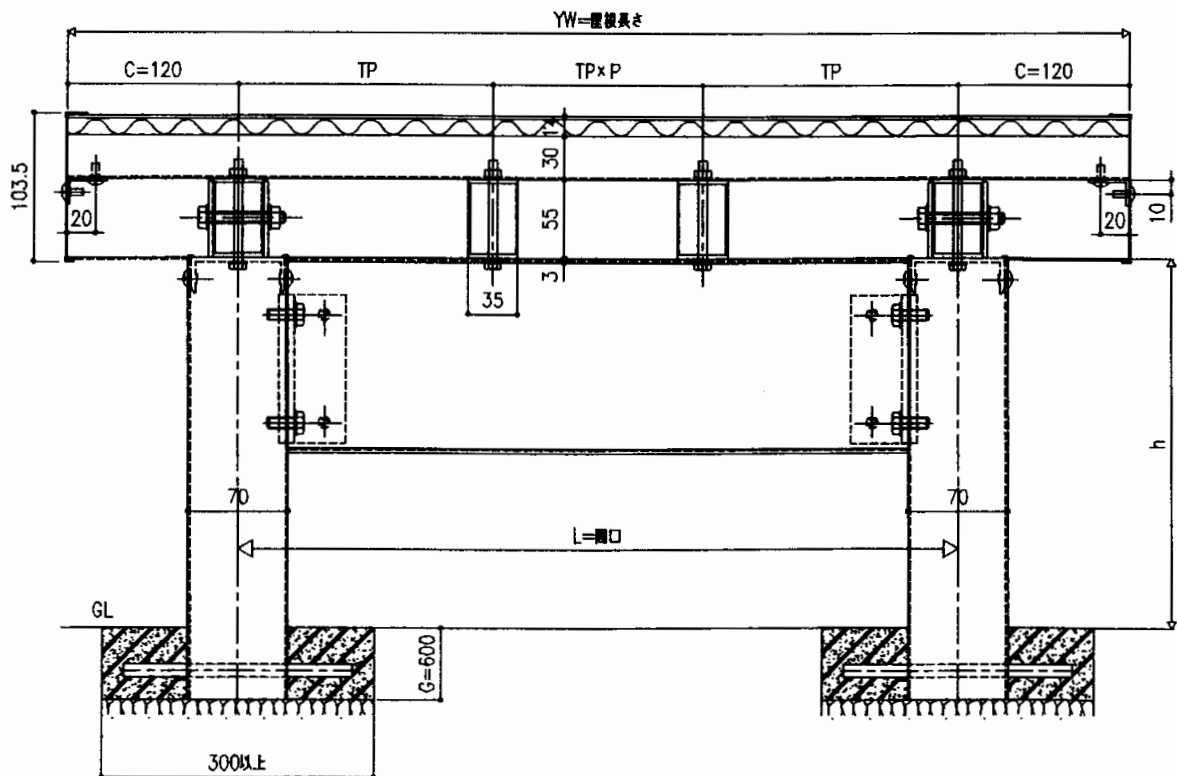


□ 3型基本納まり図 (屋根材: 波板) $S=1/5$

○ たて断面図 屋根勾配10度

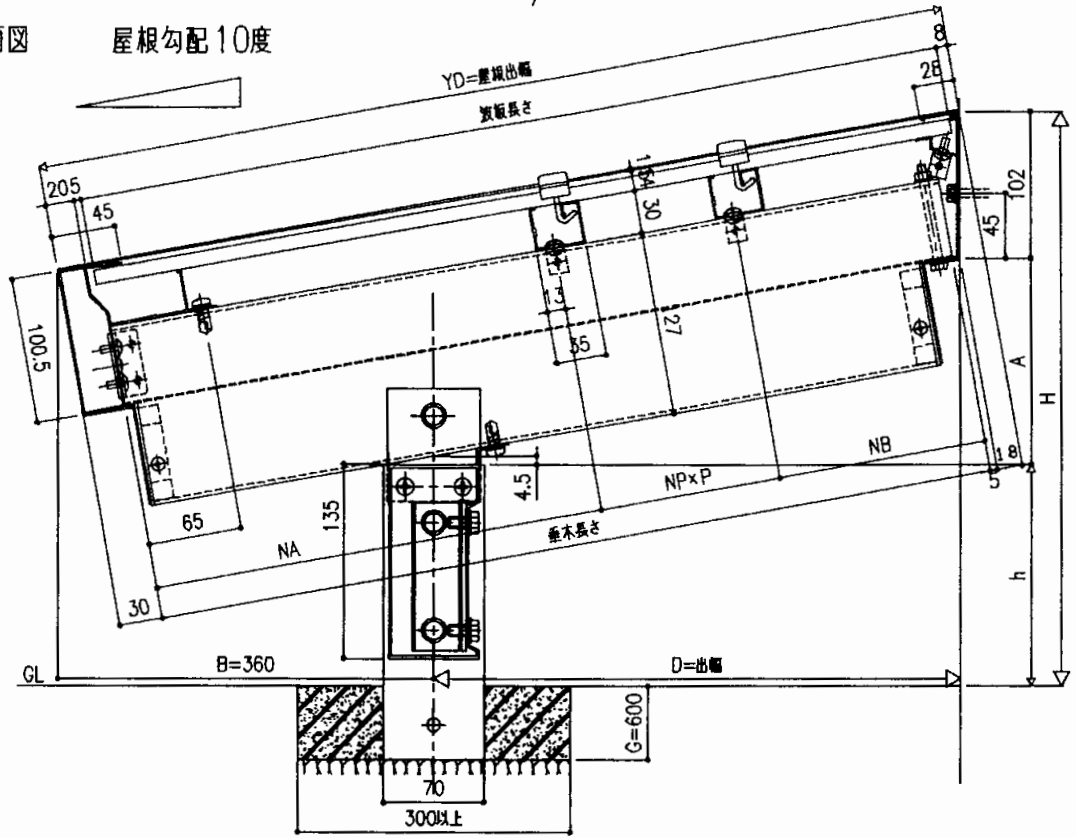


○ よこ断面図

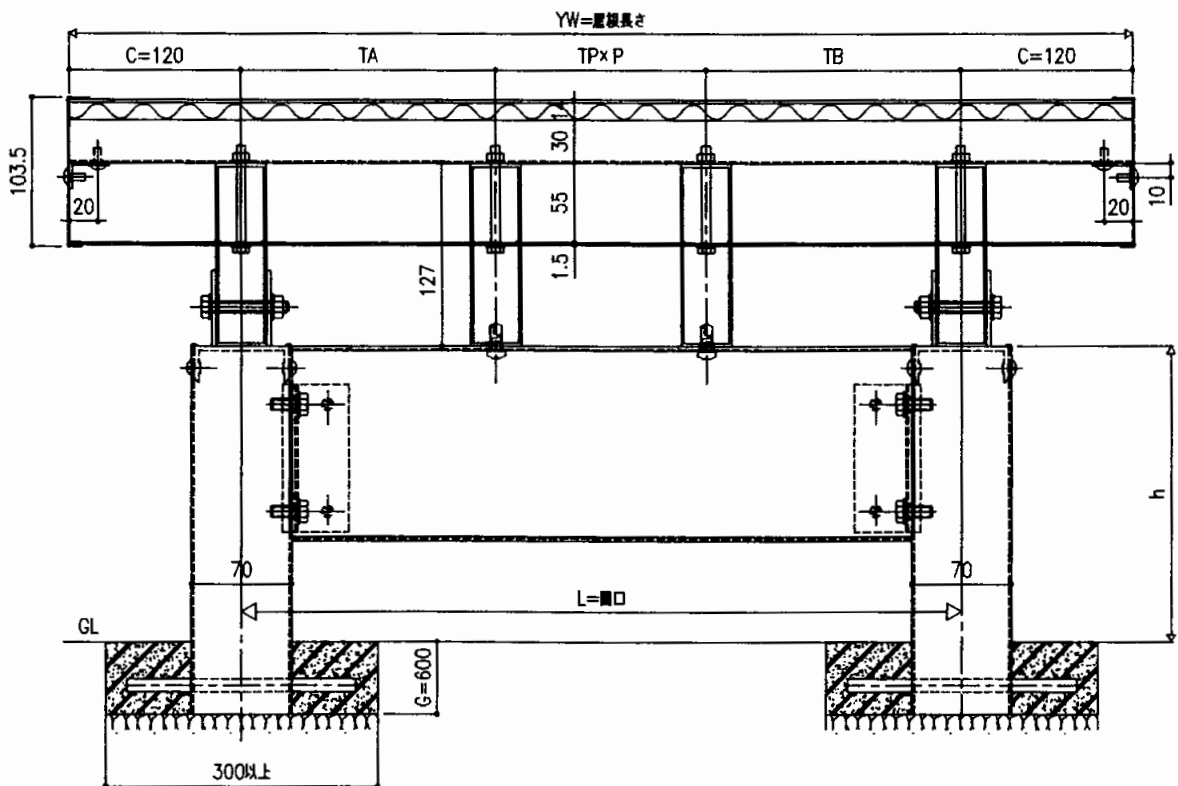


□ 4型基本納まり図 (屋根材: 波板) $S=1/5$

○ たて断面図 屋根勾配10度

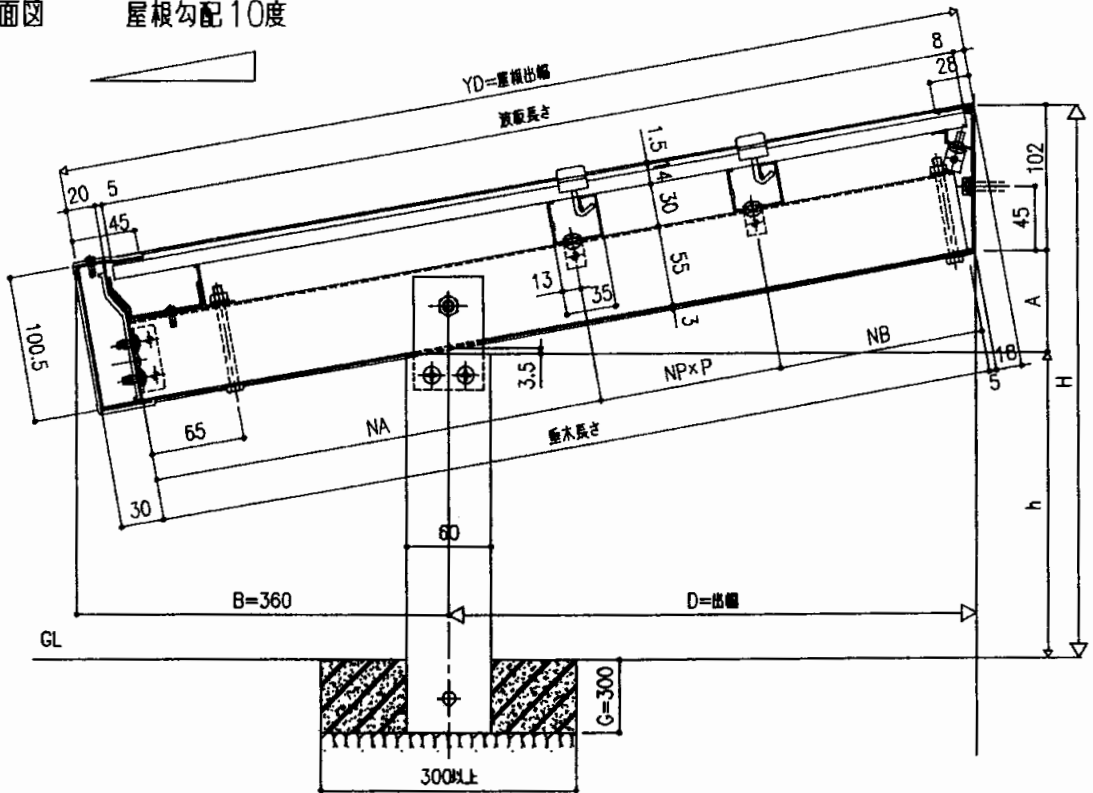


○ よこ断面図

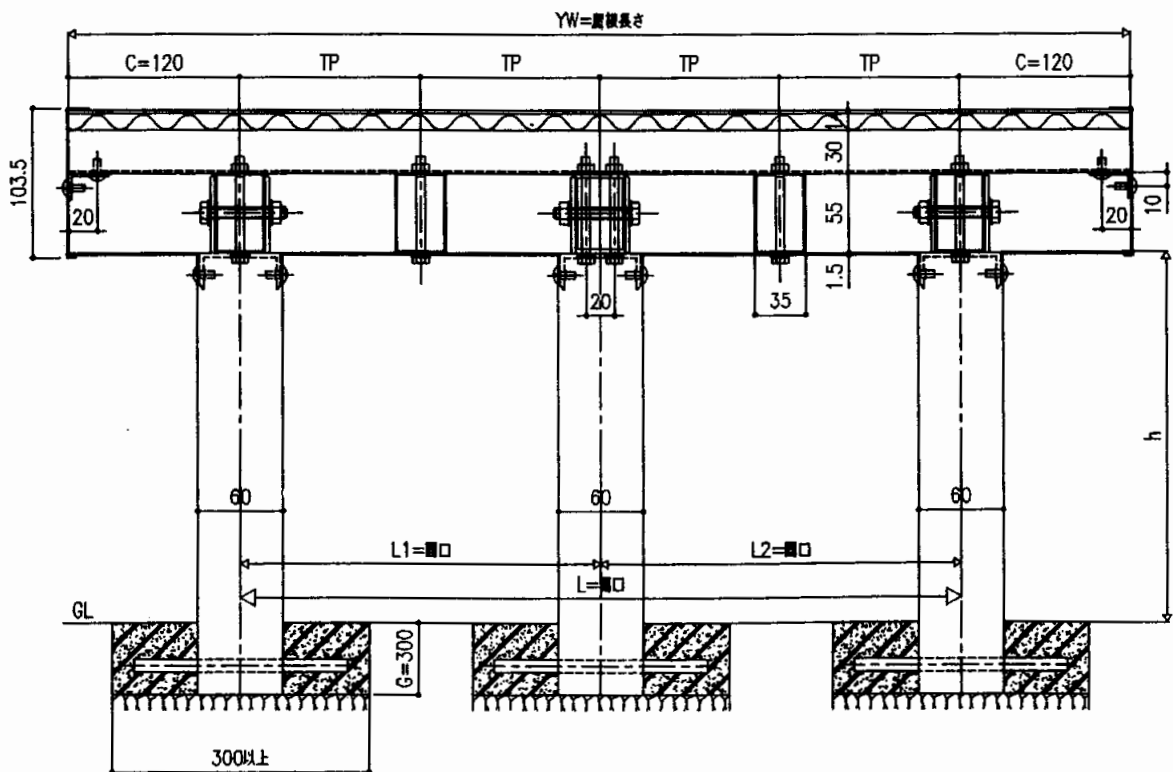


□ 1型連棟基本納まり図 (屋根材: 波板) $S=1/5$

○ たて断面図 屋根勾配10度

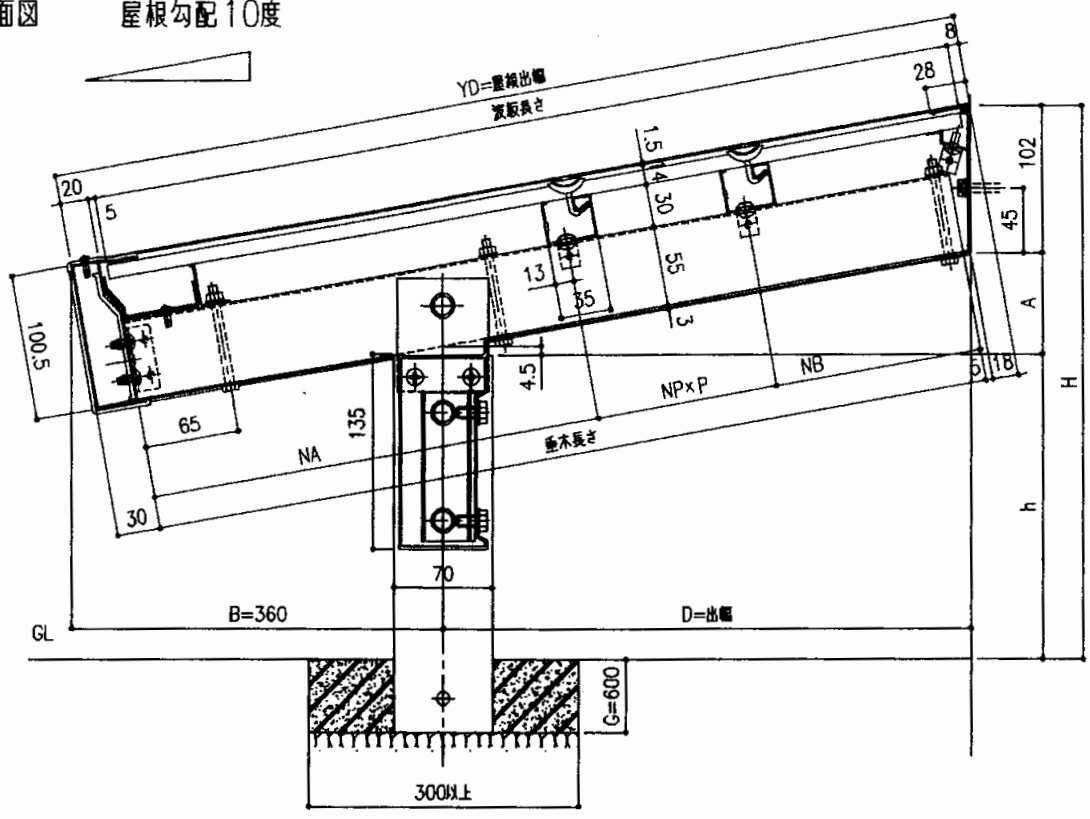


○ よこ断面図

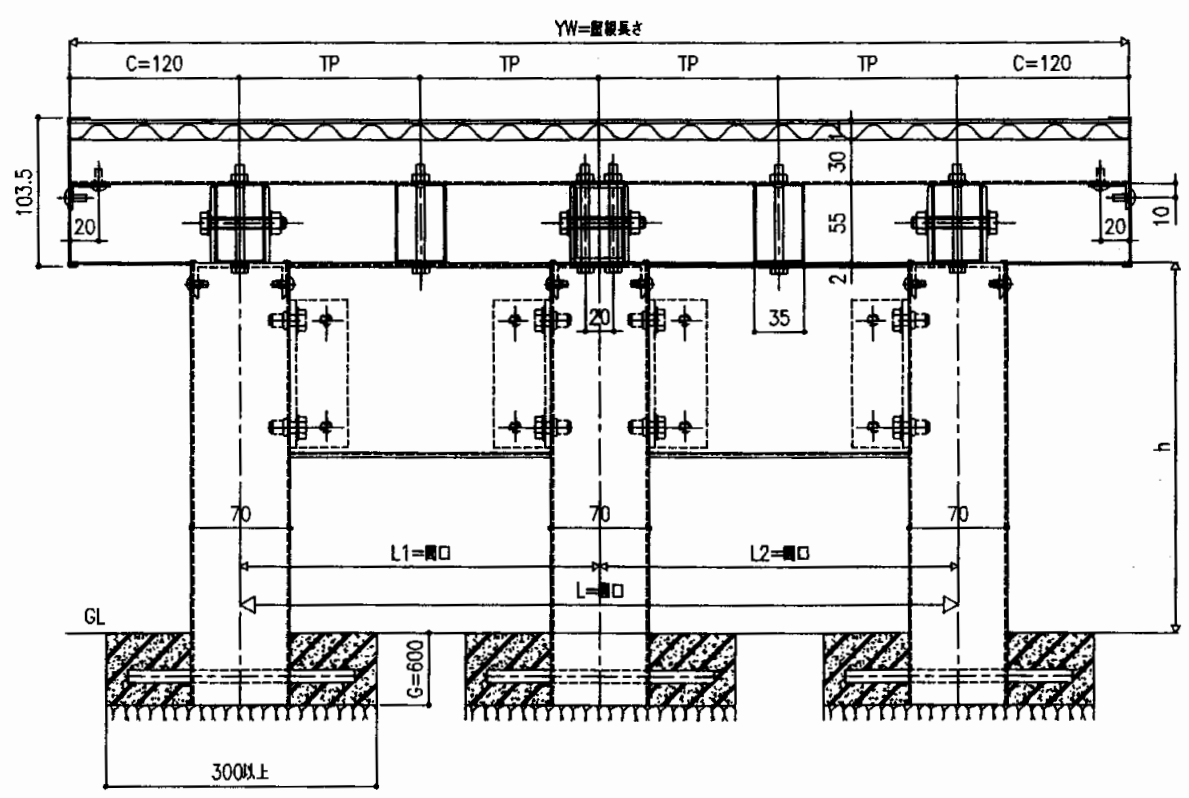


□ 2型連棟基本納まり図 (屋根材: 波板) S=1/5

○ たて断面図 屋根勾配10度



○ よこ断面図

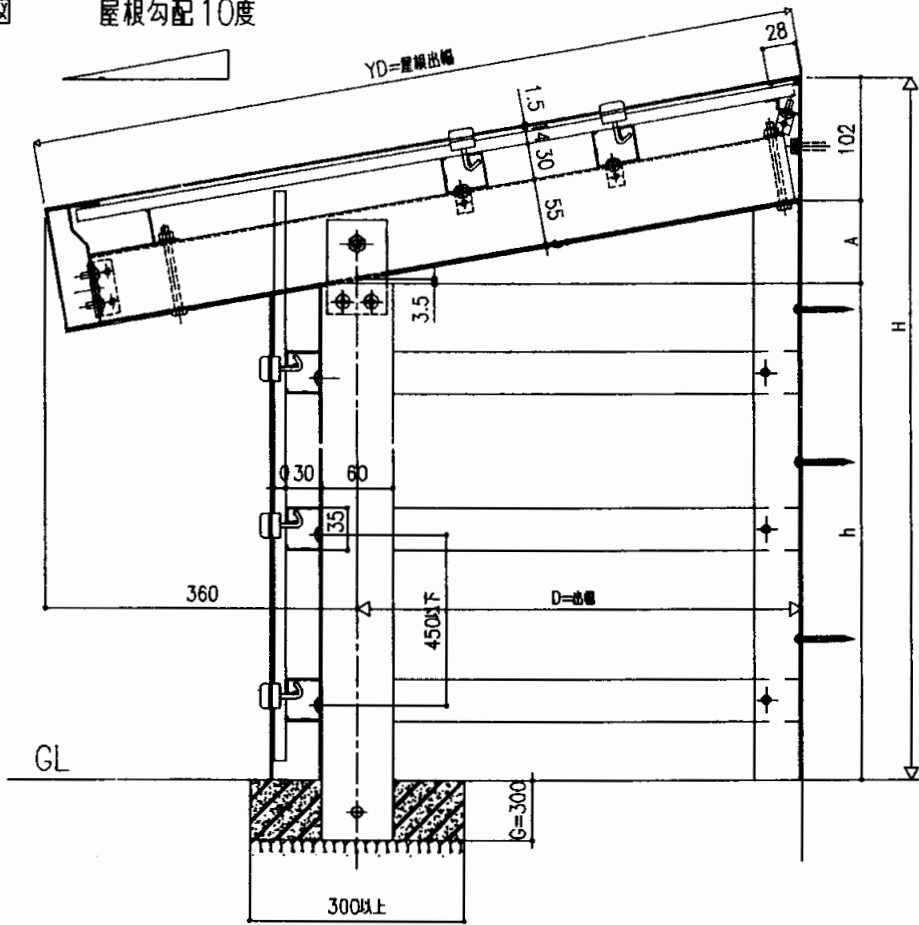


□ 1型側面囲い材基本納まり図 (屋根材: 波板)

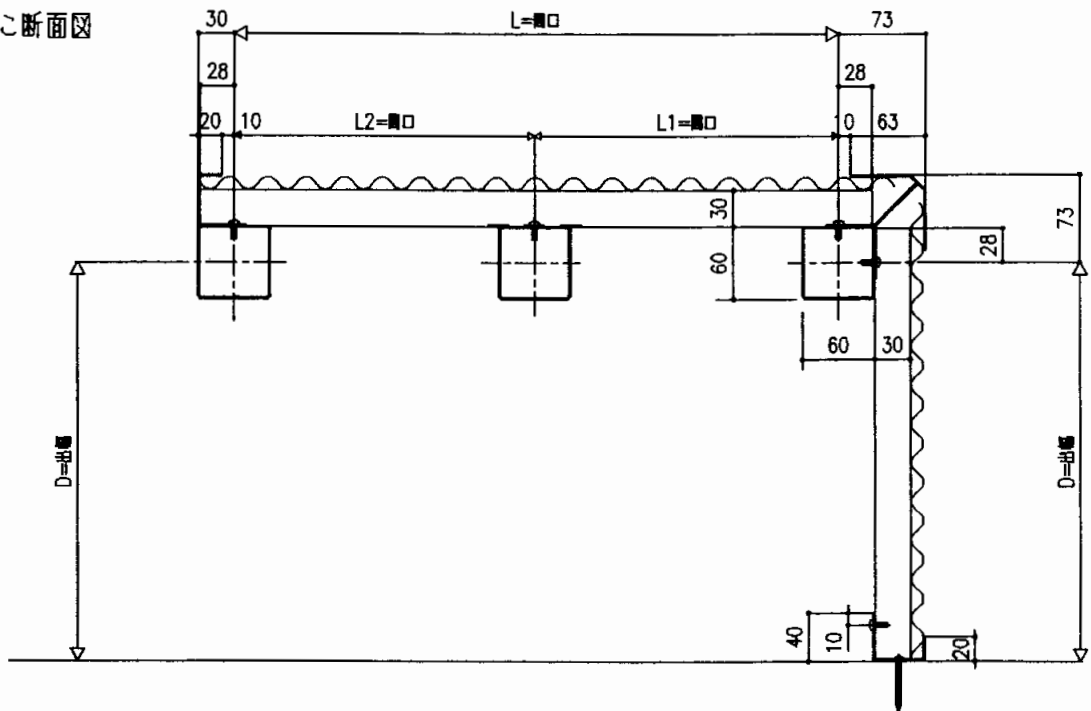
S=1/6

○ たて断面図

屋根勾配10度



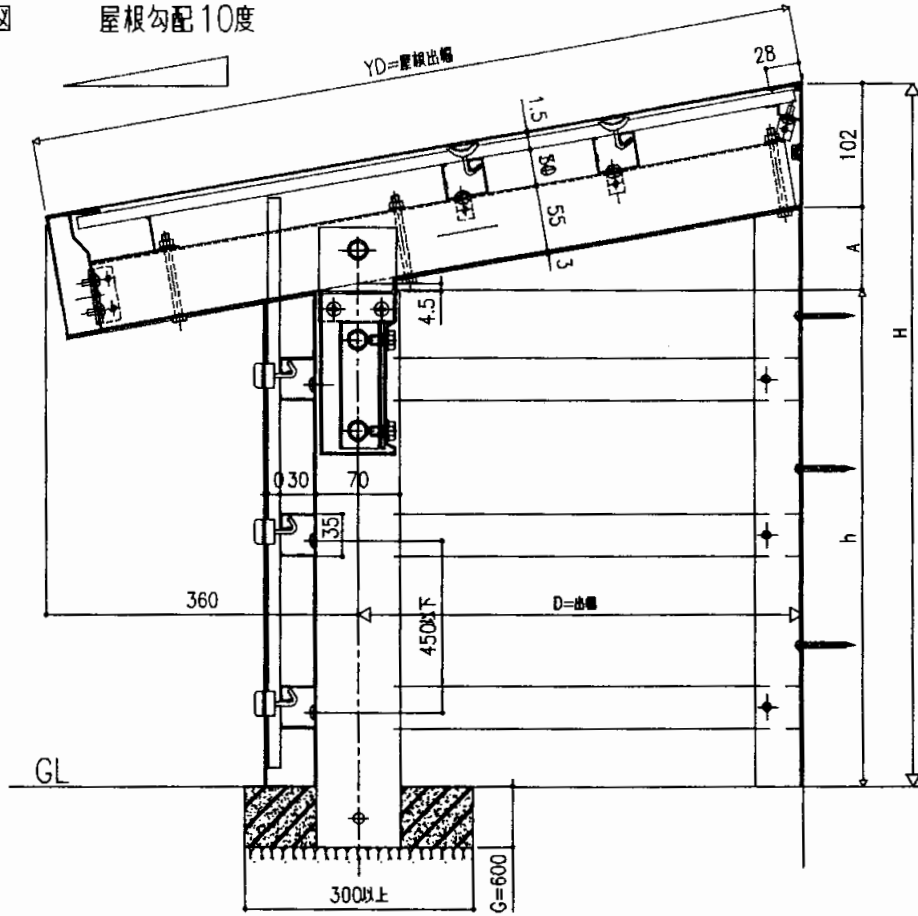
○ よこ断面図



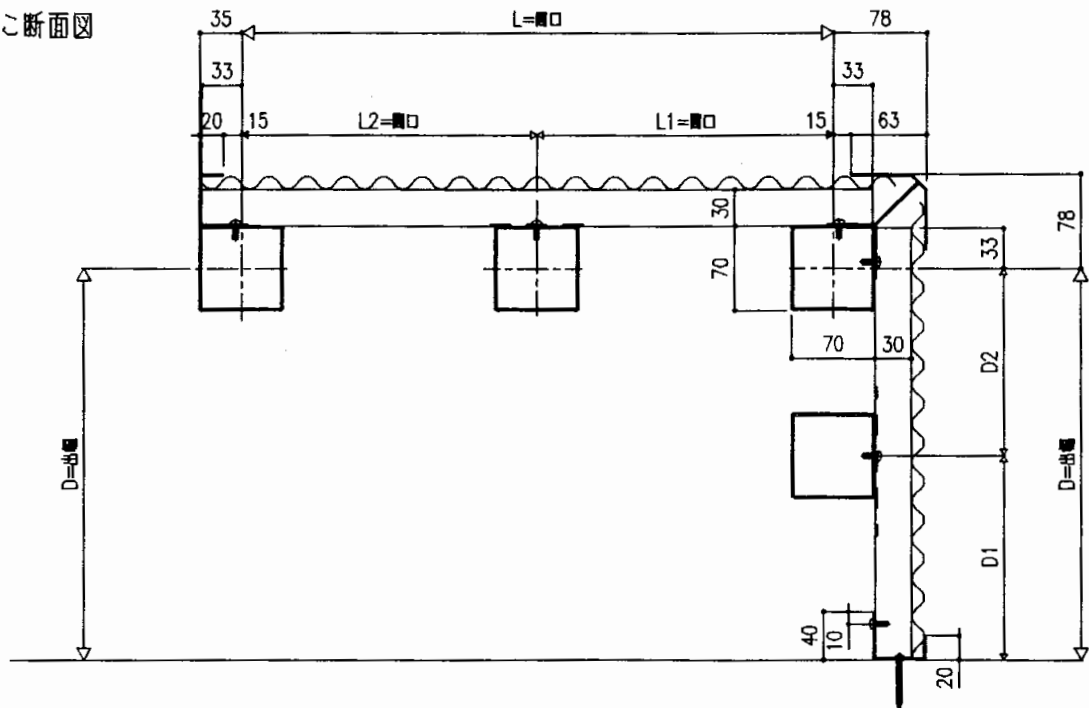
□ 2型側面囲い材基本納まり図 (屋根材: 波板)

S=1/6

○ たて断面図 屋根勾配10度



○ よこ断面図



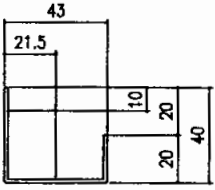
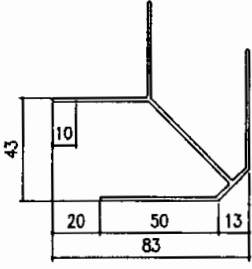
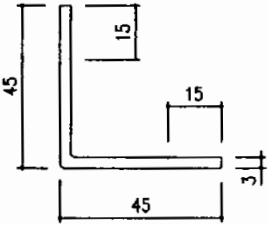
部材一覧書

頭の色記号

<p>垂木掛け JTNV11 6000×1本</p>	<p>野縁 JTNV12 6000×4本</p>	<p>前枠 JTNV13 6000×1本</p>
<p>桁 JTNV14 6000×1本</p>		<p>垂木 (1・2型) JTNV16 6000×2本</p>
<p>垂木 (3型) JTNV17 6000×2本</p>	<p>垂木 (4型) JTNV18 6000×2本</p>	<p>柱 (60) JTNV19 6000×2本</p>
<p>柱 (70) JTNV20 6000×2本</p>		

部材一覧書

頭の色記号

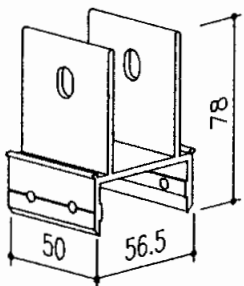
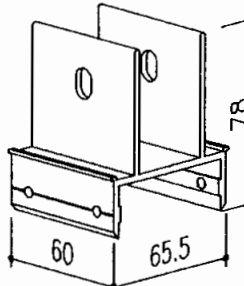
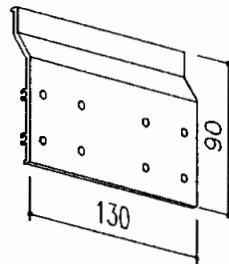
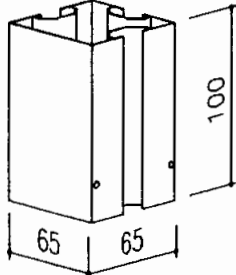
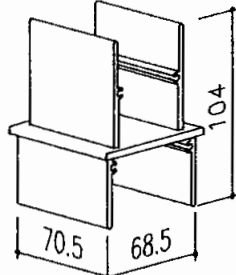
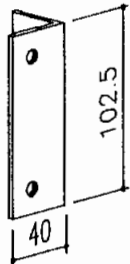
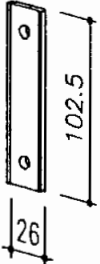
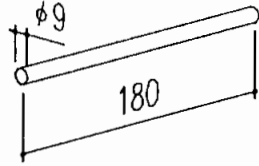
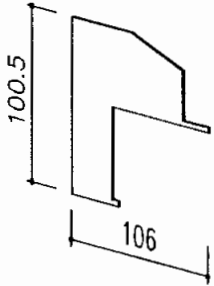
	側面端部材	側面コーナー材
	<p>JTNV23 6000×2本</p> 	<p>JTNV24 6000×2本</p> 
<p>アングル (45×45×3)</p>	<p>JTNV31</p>	
<p>6000×2本</p> 		

部品一覧表

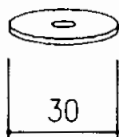
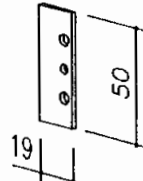
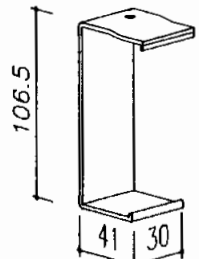
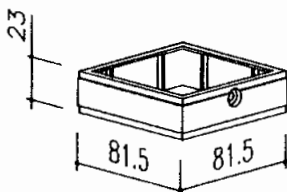
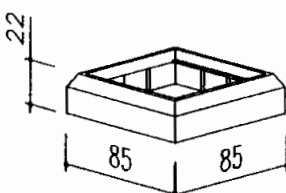
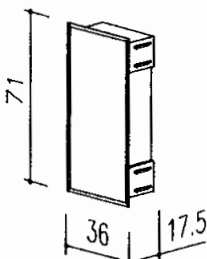
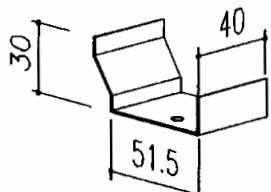
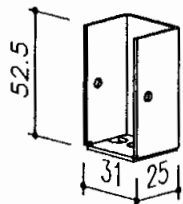
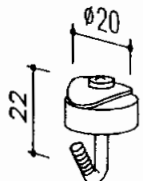
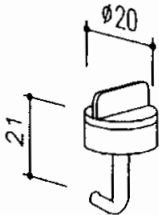
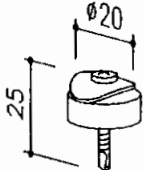
頭の色記号

製品名称		製品記号	梱包内容
柱	1型	JTNS11 (柱2本分)	柱固定ブラケット(A) 2ヶ $\phi 5 \times 12$ トラスタッピン3種 8ヶ フソカー棒 2ヶ 六角ボルトM8×55 2ヶ 六角ナットM8用 2ヶ M8用ワッシャー 4ヶ
	2~4型	JTNS12 (柱2本分)	柱固定ブラケット(B) 2ヶ $\phi 5 \times 12$ トラスタッピン3種 8ヶ フソカー棒 2ヶ 六角ボルトM8×55 2ヶ 六角ナットM8用 2ヶ M8用ワッシャー 4ヶ 桁用ネジ持ち 2ヶ 桁取付ブラケット 2ヶ 六角ボルトM8×20 8ヶ M8用ワッシャー 8ヶ
横材	1~4型	JTNS13 (横材1ヒット分)	前枠用ネジ持ち 2ヶ 側枠固定ブラケット(A) 2ヶ $\phi 4 \times 10$ ナベタッピン3種 2ヶ コーチスクリュー $\phi 6 \times 70$ 6ヶ M6用ワッシャー 6ヶ $\phi 5 \times 12$ トラスタッピン3種 52ヶ 前枠シーラー (R/L) 各1ヶ 銘板 1枚
たて材	1~3型 (1型垂木9本分) (2・3型垂木6本分)	JTNS14	六角ボルトM6×70 18ヶ 六角ナットM6用 18ヶ M6用ワッシャー 18ヶ M6用座金 18ヶ M6用スプリングワッシャー 18ヶ
	4型 (垂木6本分)	JTNS15 (垂木6本分)	垂木キャップ 12ヶ $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン1種 24ヶ 垂木補強金具 6ヶ M6用座金 6ヶ $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン3種 12ヶ 六角ボルトM6×70 6ヶ 六角ナットM6用 6ヶ M6用ワッシャー 18ヶ M6用スプリングワッシャー 18ヶ $\phi 6 \times 16$ テクスビス 12ヶ
連結部	1~4型	CJTNS17 (1ヶ所分)	前枠連結カバー 1ヶ 雨樋カバー 1ヶ $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン3種 4ヶ 雨樋カバーシーラー 1ヶ 前枠スリーブ 1ヶ $\phi 5 \times 19$ テクスビス 8ヶ M6用ワッシャー 2ヶ
波板用 テクス	1~4型	AJTNS23	波板止めテクス 50ヶ

部品図

<p>柱(60)固定ブラケット</p>	<p>柱(70)固定ブラケット</p>	<p>前枠スリーブ</p>
<p>AB-1022</p> 	<p>AB-1023</p> 	<p>AB-1025</p> 
<p>柱ジョイナー(70×70)</p>	<p>柱ジョイナー(75×70)</p>	<p>折取付ブラケット</p>
<p>AB-1007</p> 	<p>AB-1026</p> 	<p>NAB-49</p> 
<p>桁ネジ持ち</p>	<p>柱アンカー</p>	<p>前枠ソーラー</p>
<p>AB-1039</p> 	<p>AN-108</p> 	<p>BC-4153</p> 

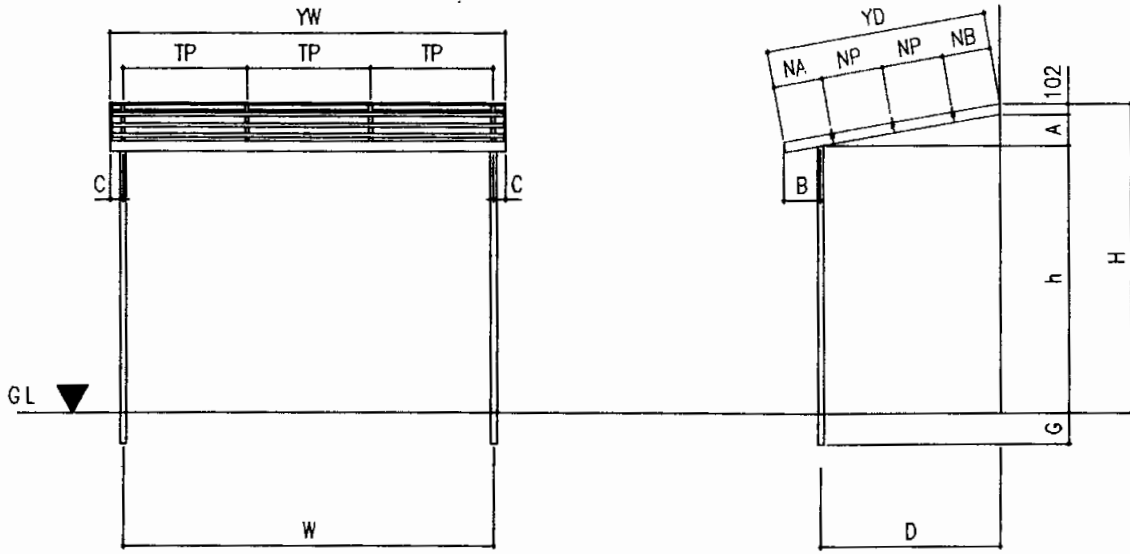
部品図

座金	前枠ネジ持ち	前枠連結カバー
<p>BP-1832</p> 	<p>BP-1013</p> 	<p>C-1472</p> 
<p>柱ジョイントキャップ (70×70)</p> <p>C-1402</p> 	<p>柱ジョイントキャップ (75×70)</p> <p>C-1473</p> 	<p>垂木 (4型) キャップ</p> <p>NC-137</p> 
<p>雨樋カバー</p>		
<p>K-1088</p> 		
<p>垂木補強金具</p>		
<p>EB-1164</p> 		
<p>波板止めフック (ステン)</p>	<p>波板止めフック (樹脂)</p>	<p>波板止めテクス</p>
<p>NETC-371</p> 	<p>NETC-408</p> 	<p>ETC-2637</p> 

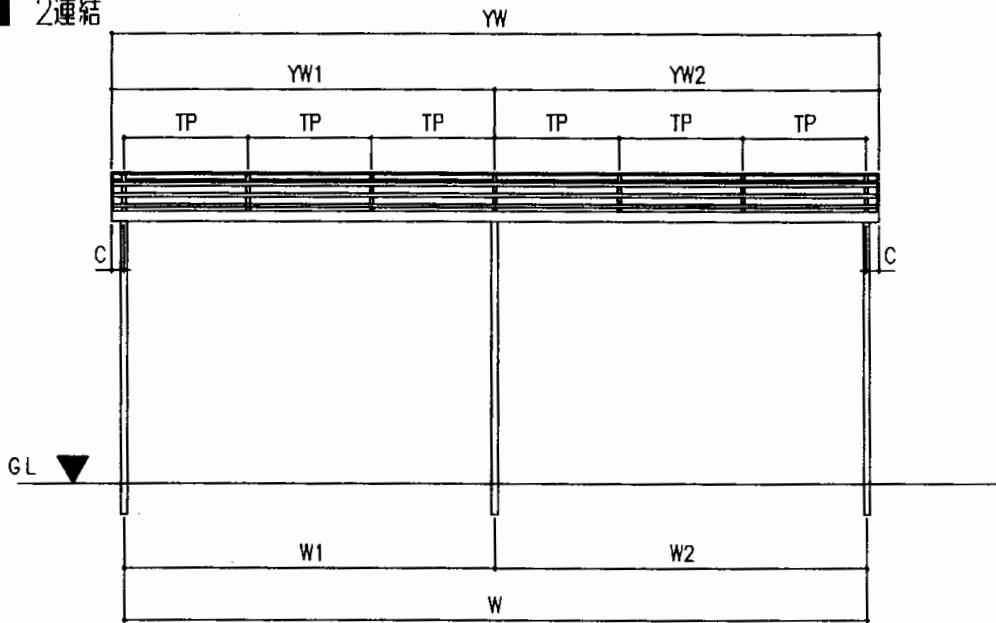
加工図

■ 姿図

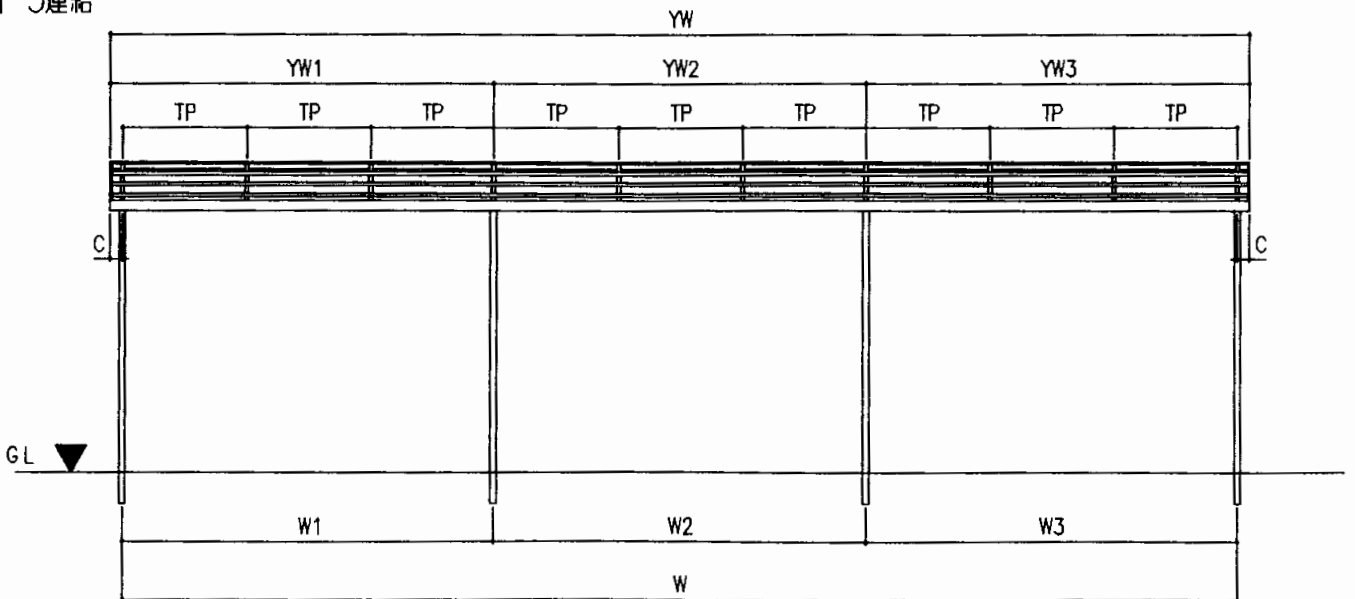
■ 単体



■ 2連結



■ 3連結



加工図

■ 各部材の切断公式

一般部材

名称	切断公式	名称	切断公式
垂木掛け(単体用)	$L=W+240$	前枠(単体用)	$L=W+240$
垂木掛け(2・3連結用)	$L=W+120$	前枠(2・3連結用)	$L=W+120$
中間連結用垂木	$L=W$	中間連結用前枠	$L=W$
野縁(単体用)	$L=W+240$	柱(1型)	$L=(H+198)-A$
野縁(2・3連結用)	$L=W+120$		$A=(D \times 0.1763) + 3.5$
中間連結用野縁	$L=W$	柱(2・3・4型)	$L=(H+498)-A$
桁	$L=W-70$		$A=(D \times 0.1763) + 4.5$ (2・3型)
側 枠	$L=YD$		$A=(D \times 0.1763) + 77.5$ (4型)
垂木(1・2・3・4型)	$L=YD-53$		

* 柱の切断寸法は GL から埋め込み代 (G) をとってあります。

* 間口2.5間の場合は圓柱がつきます。

加工図

■ 各部材の切断公式

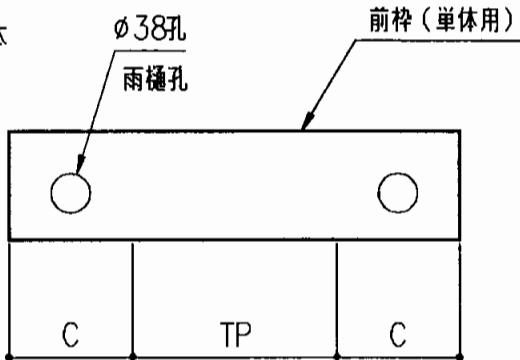
側面部材 コーナー材

名称	切断公式	名称	切断公式
側面コーナー材	$L=h-8$	側面用 野縁 (前面用)	$L=D+50$ (1型)
側面端部材 (前面用)	$L=h-8$		$L=D+60$ (2・3・4型)
側面端部材 (躯体取付用)	$L=H-102$	側面用 野縁 (奥行用)	$L=D+50$ (1型)
			$L=D+55$ (2・3・4型)

■ 垂木掛け・野縁・前枠の組合わせ及び加工

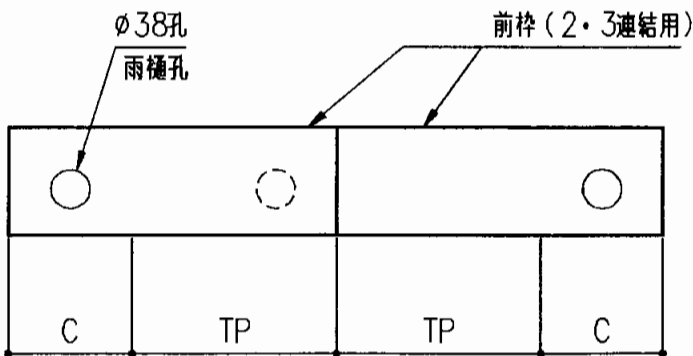
例) 前枠

単体



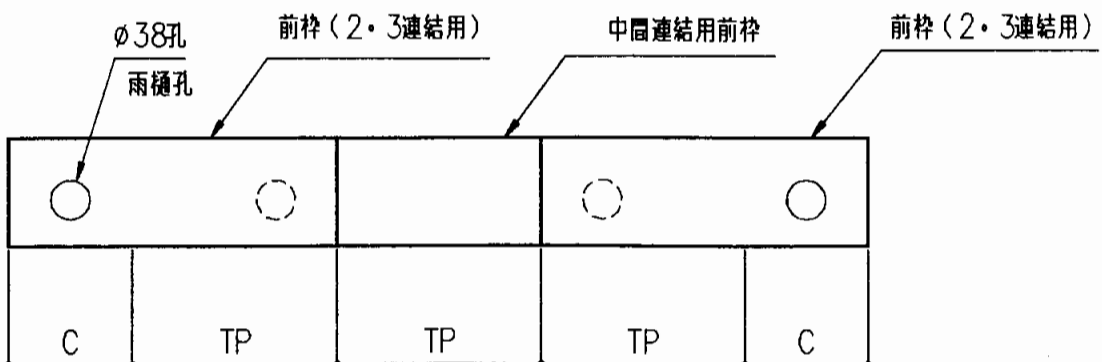
注意：中間連結用に雨樋孔を加工してもよいです。

2連結



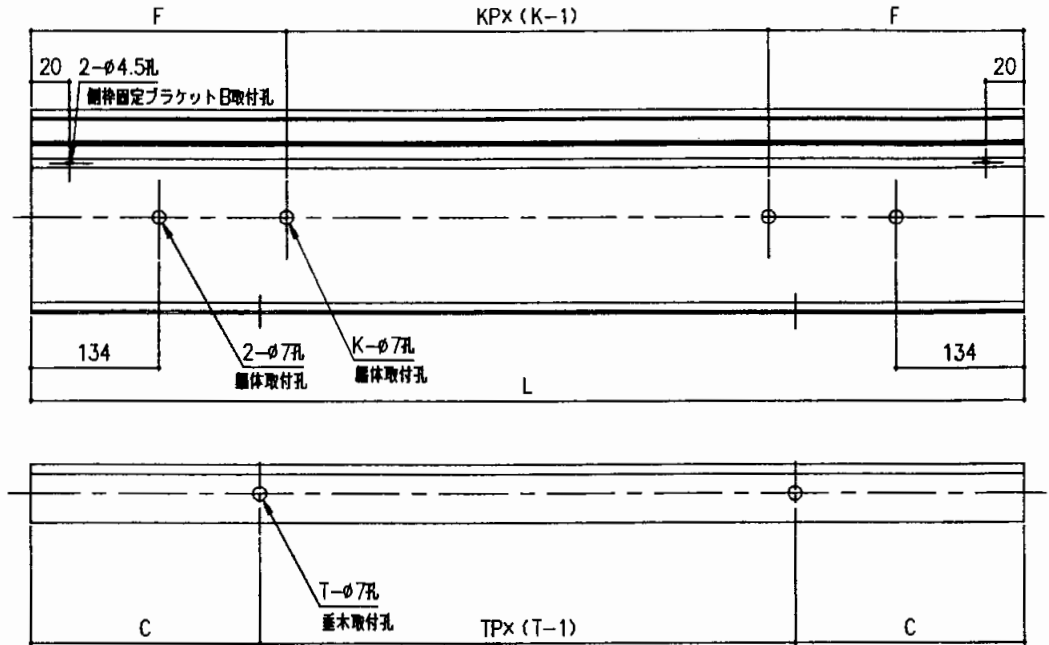
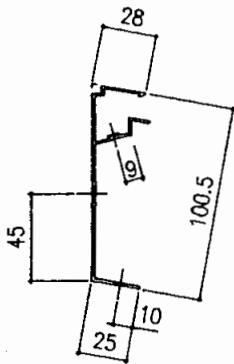
TP=垂木ピッチ
C=垂木からの屋根張出寸法

3連結



加工図

垂木掛け (単体用)

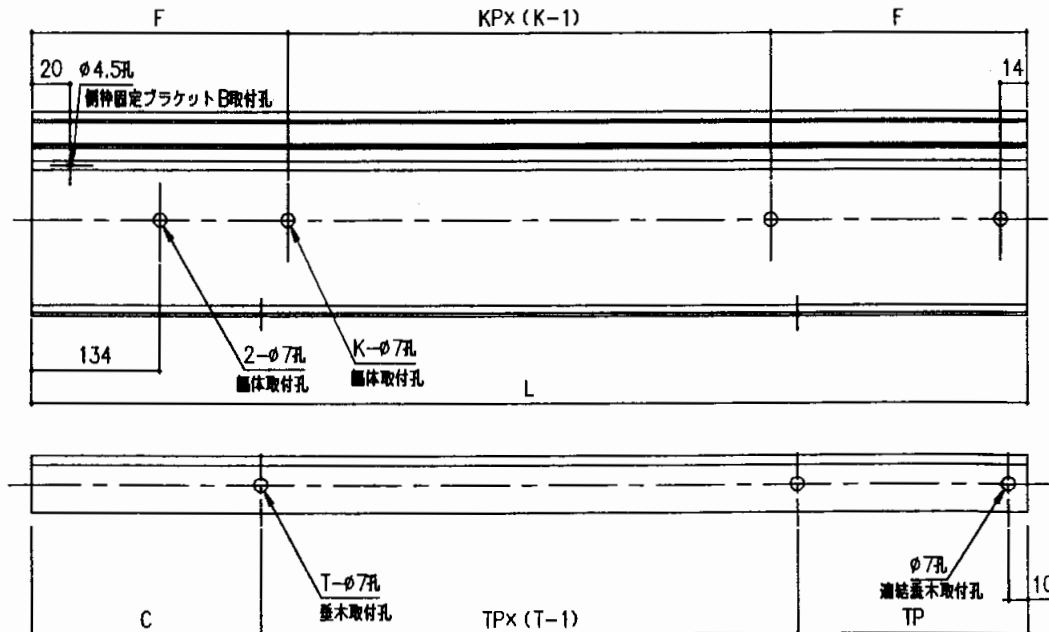
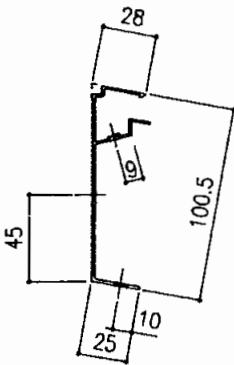


4型	開西面	L=W+240	F=(L-(KP x (K-1))) ÷ 2	KP=990	TP ≤ 998	C=120
3型				KP=909	TP ≤ 912	
2型	開東面			KP=990	TP ≤ 1368	
1型				KP=909		
タイプ	面別	公式	条件			

KP=躯体取り付けビスピッチ
 K=躯体取り付けビス本数
 TP=垂木ピッチ
 T=垂木本数
 C=垂木からの屋根張出寸法

垂木掛け (2・3連結用)

連結側

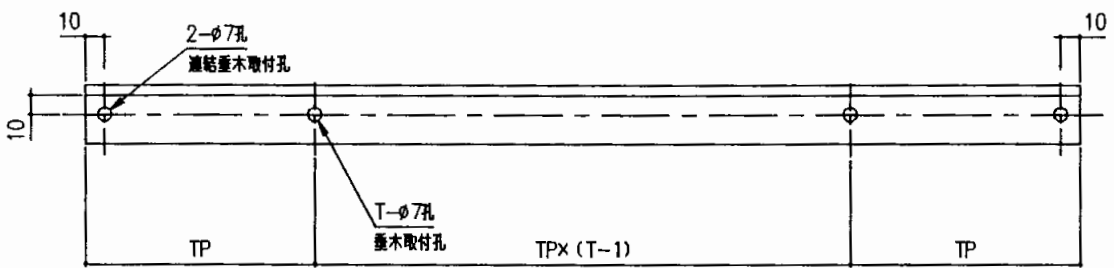
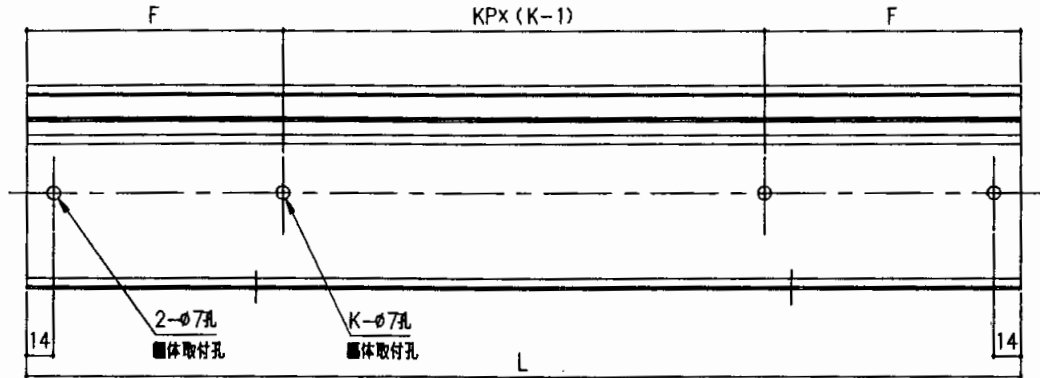
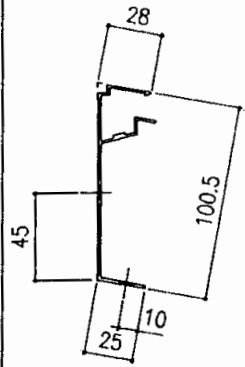


4型	開西面	L=W+120	F=(L-(KP x (K-1))) ÷ 2	KP=990	TP ≤ 998	C=120
3型				KP=909	TP ≤ 912	
2型	開東面			KP=990	TP ≤ 1368	
1型				KP=909		
タイプ	面別	公式	条件			

KP=躯体取り付けビスピッチ
 K=躯体取り付けビス本数
 TP=垂木ピッチ
 T=垂木本数
 C=垂木からの屋根張出寸法

加工図

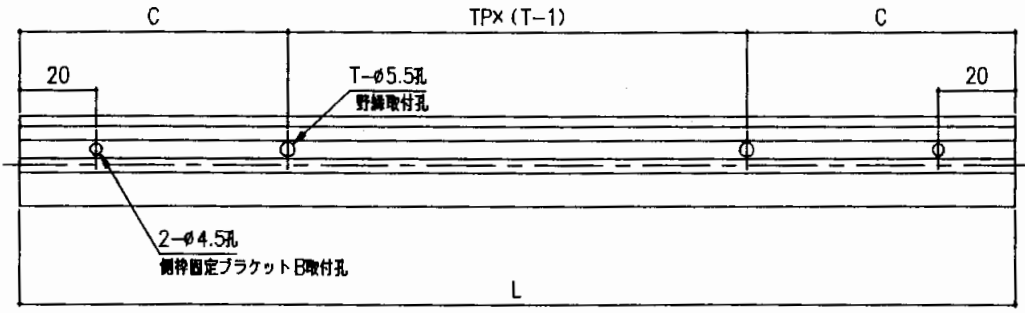
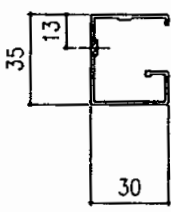
中間連結用 垂木掛け



2型	開東間	L=W	$F = \{ L - (KP \times (K-1)) \} \div 2$	KP=909	TP ≤ 912
1型	開西間			KP=990	TP ≤ 1368
	開東間		KP=909		
タイプ	間別	公式	条件		

KP=躯体取り付けビスピッチ
 K=躯体取り付けビス本数
 TP=垂木ピッチ
 T=垂木本数
 C=垂木からの屋根張出寸法

野縁(単体用)

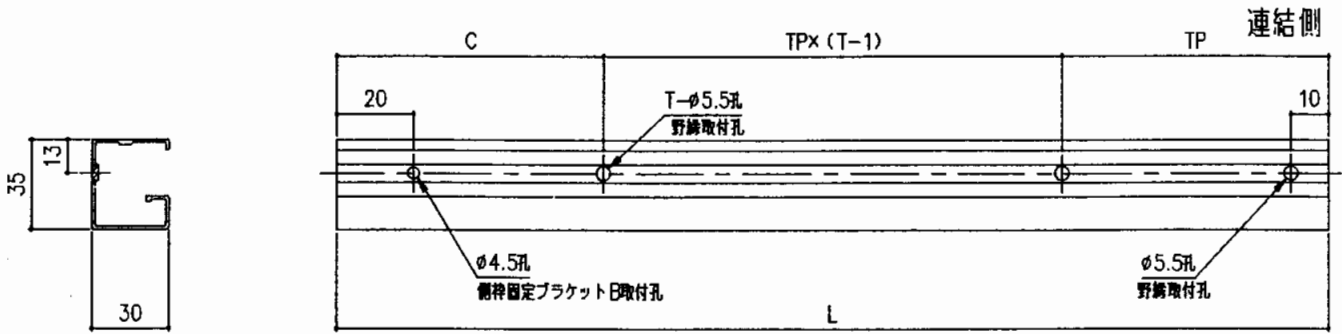


4型	開西間	L=W+240	TP ≤ 998	C=120
3型			TP ≤ 912	
2型	開東間	TP ≤ 1368		
1型	開西間			
	開東間			
タイプ	間別	公式	条件	

TP=垂木ピッチ
 T=垂木本数
 C=垂木からの屋根張出寸法

加工図

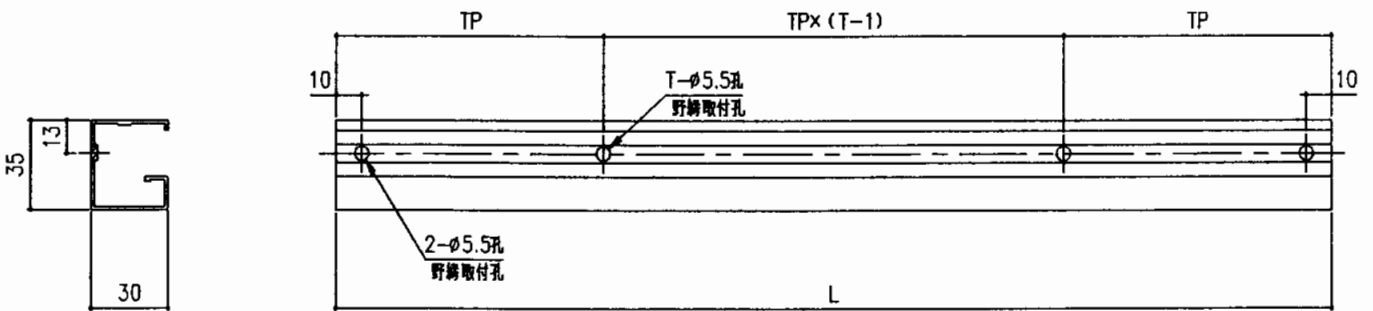
野縁 (2・3連結用)



4型	間西間	L=W+120	TP ≤ 998	C=120
3型	間東間		TP ≤ 912	
2型	間西間		TP ≤ 1368	
1型	間東間			
タイプ	間別	公式	条件	

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数
C=垂木からの屋根張出寸法

中間連結用野縁

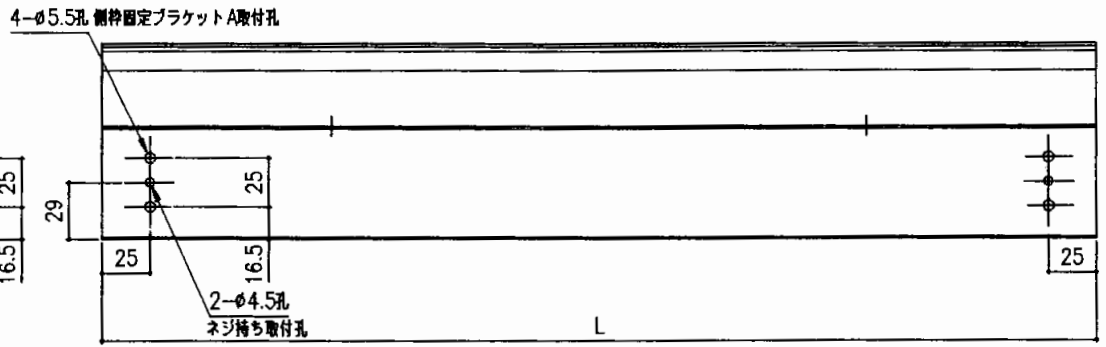
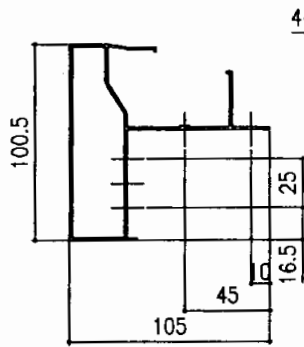
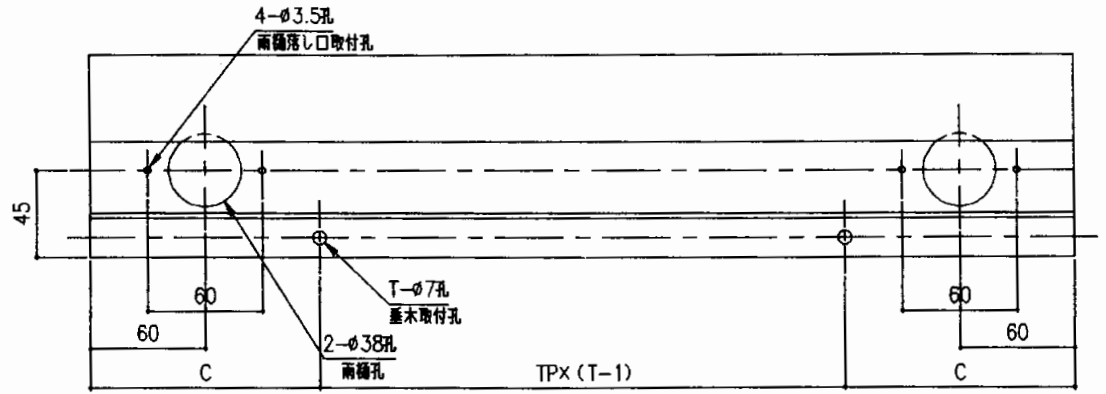


2型	間東間	L=W	TP ≤ 912
1型	間西間		TP ≤ 1368
タイプ	間別	公式	条件

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数
C=垂木からの屋根張出寸法

加工図

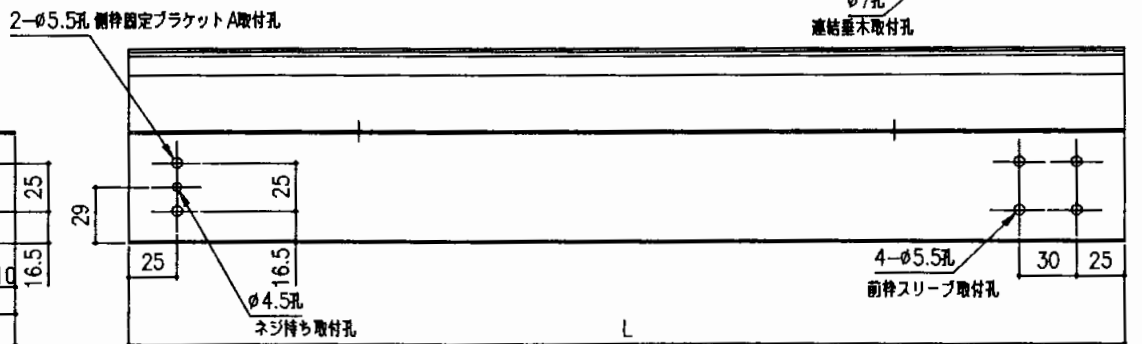
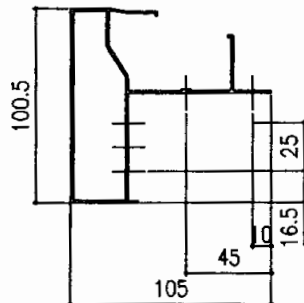
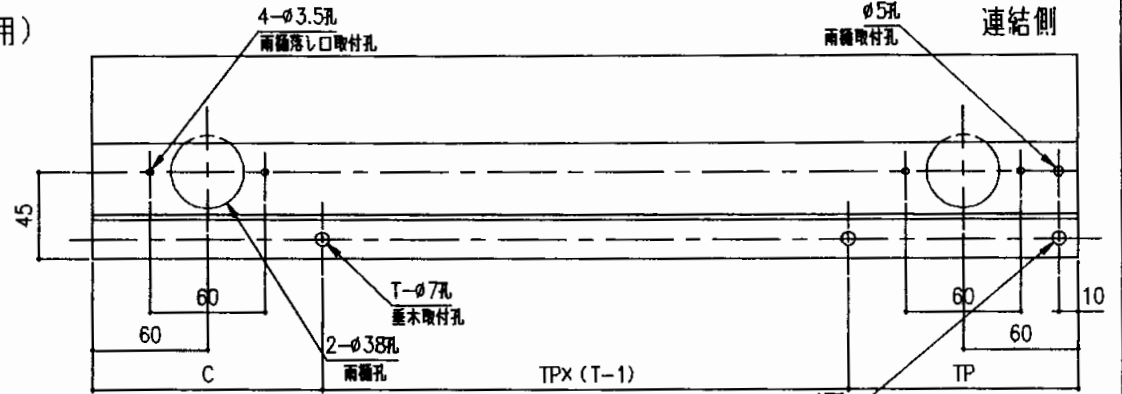
前 枠 (単体用)



タイプ	図別	公式	条件
4型	閉西側	$L=W+240$	$TP \leq 998$
3型			$TP \leq 912$
2型	閉東側		$TP \leq 1368$
1型			$TP \leq 1368$
			$C=120$

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数
C=垂木からの屋根張出寸法

前 枠 (2・3連結用)

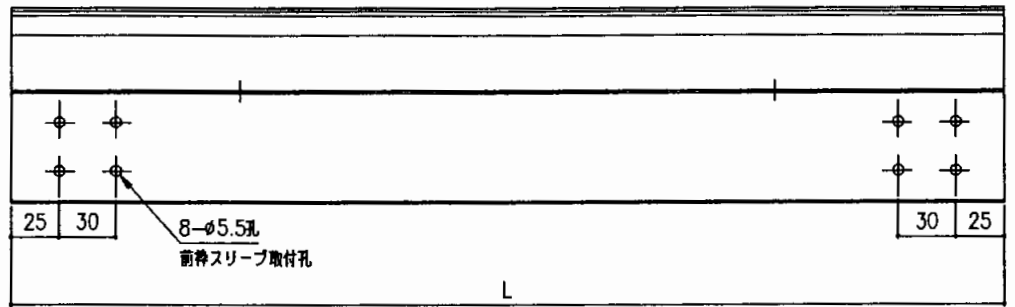
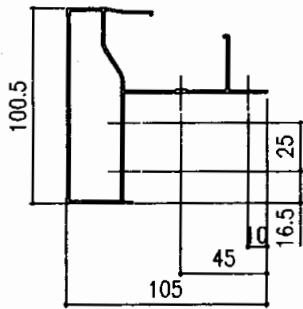
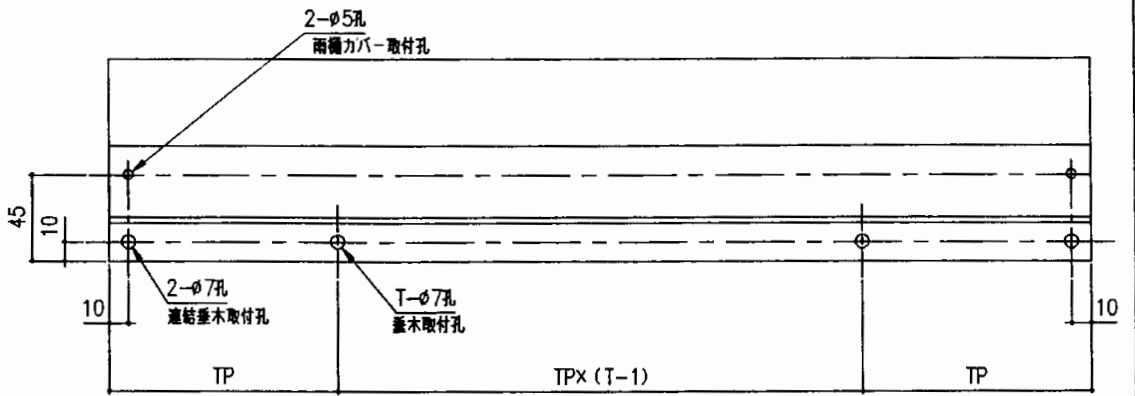


タイプ	図別	公式	条件
4型	閉西側	$L=W+120$	$TP \leq 998$
3型			$TP \leq 912$
2型	閉東側		$TP \leq 1368$
1型			$TP \leq 1368$
			$C=120$

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数
C=垂木からの屋根張出寸法

加工図

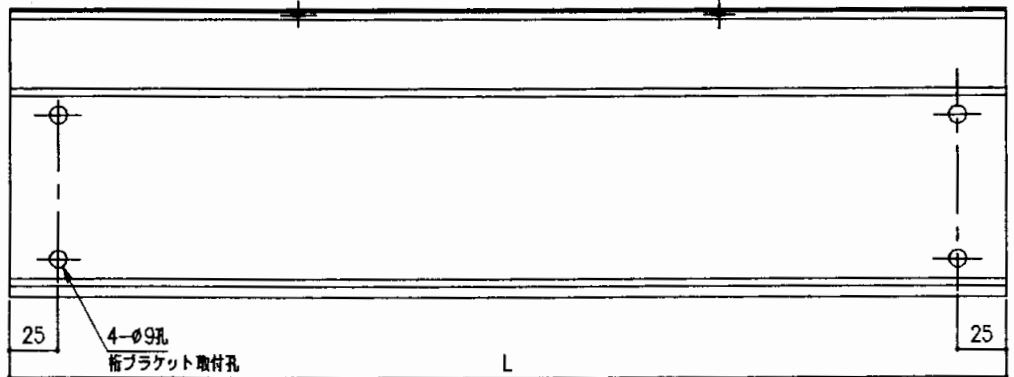
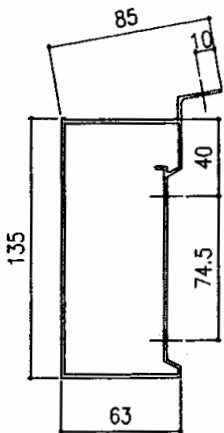
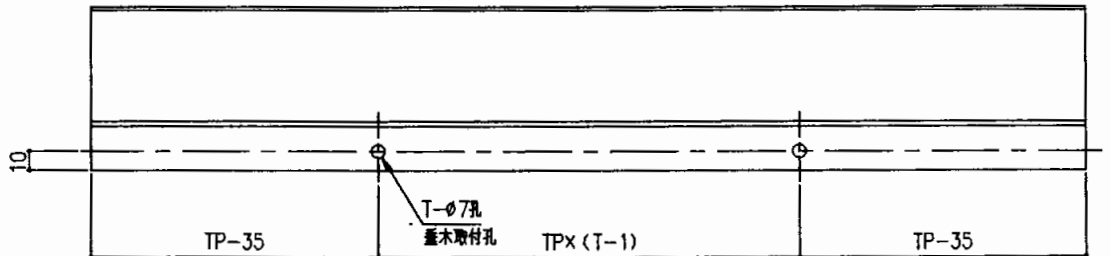
中間連結用前枠



2型	閉東開	L=W	TP≤912
1型	閉西開		TP≤1368
タイプ	前別	公式	条件

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数

桁

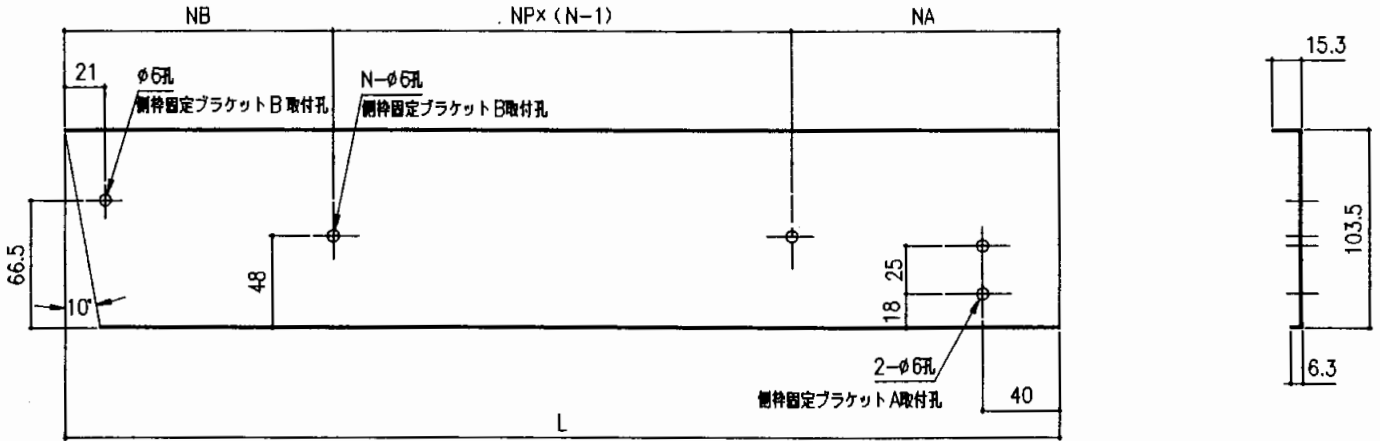


4型	閉西開	L=W-70	TP≤998	C=120
3型			TP≤912	
2型	閉東開	公式	条件	
タイプ	前別			

TP=垂木ピッチ
T=垂木本数

加工図

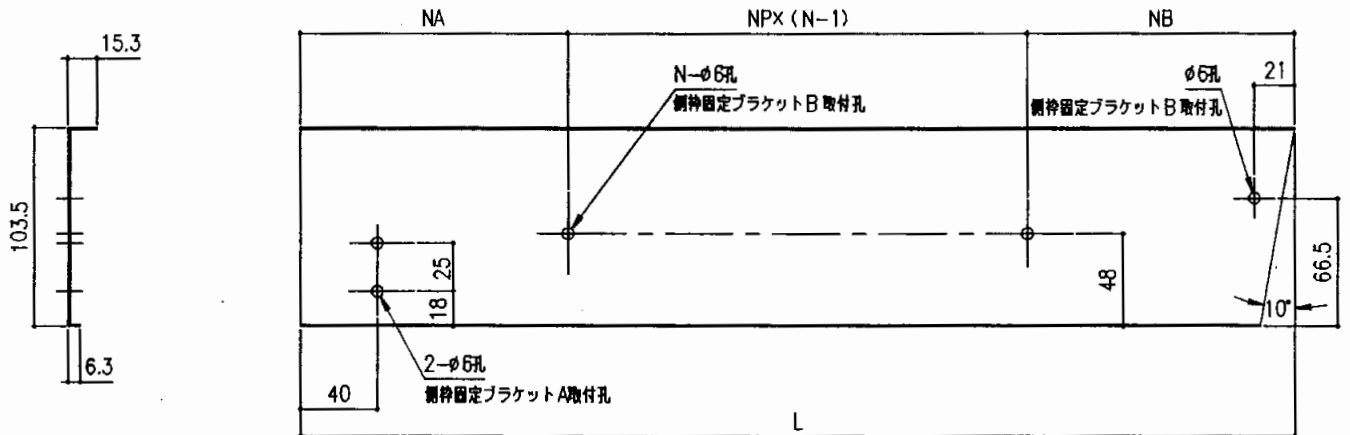
側 枠 (右)



4型	L=YD	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
3型						
2型						
1型						
タイプ	公 式		条 件			

NP・NA・NB=野縁ピッチ
N=野縁本数

側 枠 (左)

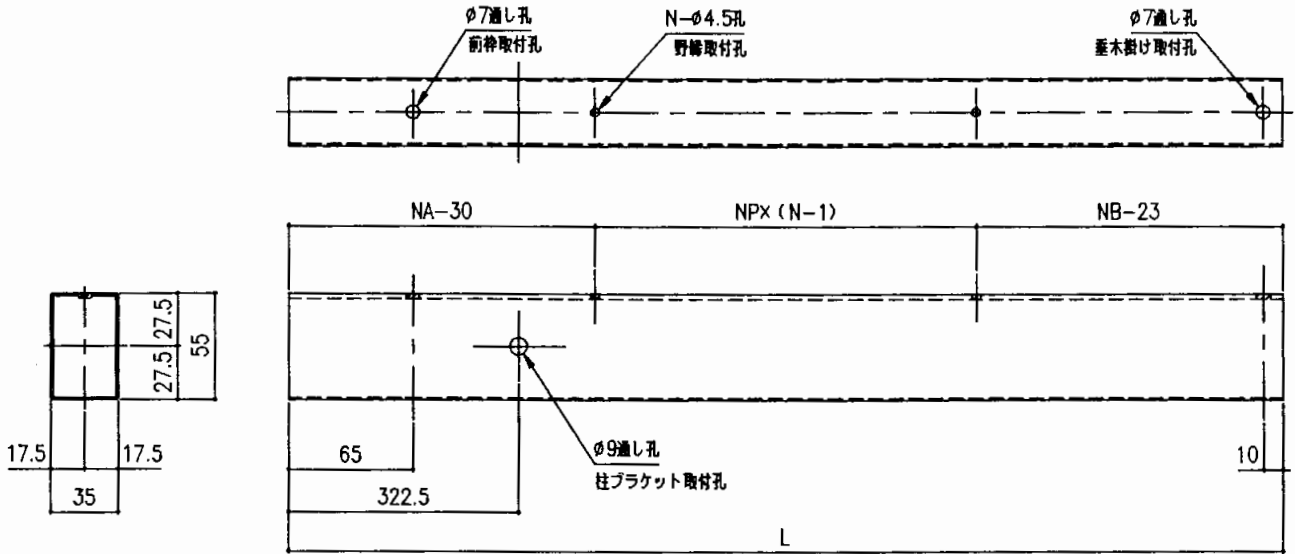


4型	L=YD	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
3型						
2型						
1型						
タイプ	公 式		条 件			

NP・NA・NB=野縁ピッチ
N=野縁本数

加工図

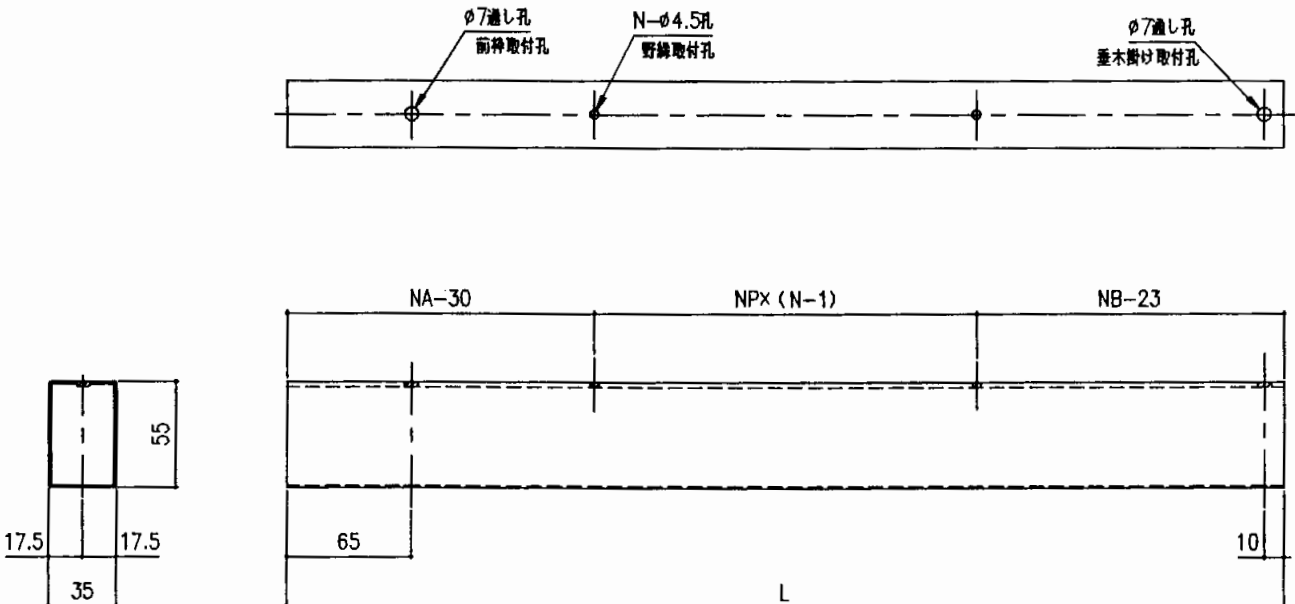
柱固定垂木 (1・2型)



2型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	$NP \leq 600$	$NA = 455 \leq 600$	$NB \leq 600$
1型	公 式		条 件			
タイプ						

NA・NB・NP=野締ピッチ
N=野締本数

垂木 (1型)

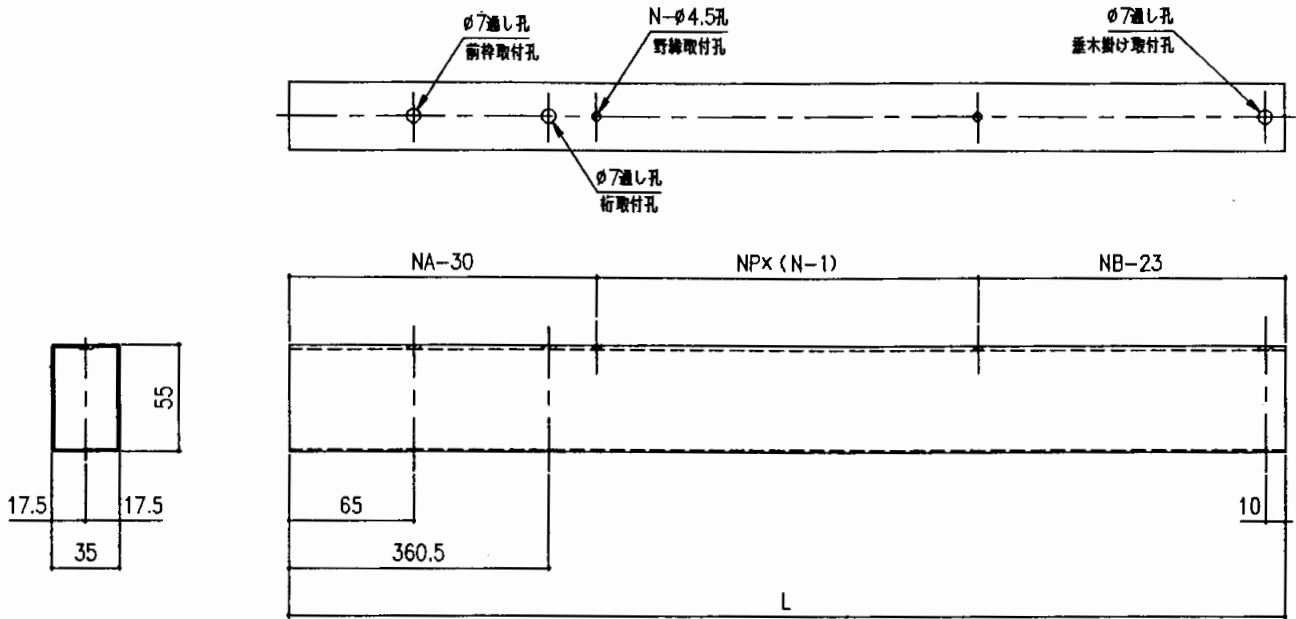


1型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	$NP \leq 600$	$NA = 455 \leq 600$	$NB \leq 600$
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野締ピッチ
N=野締本数

加工図

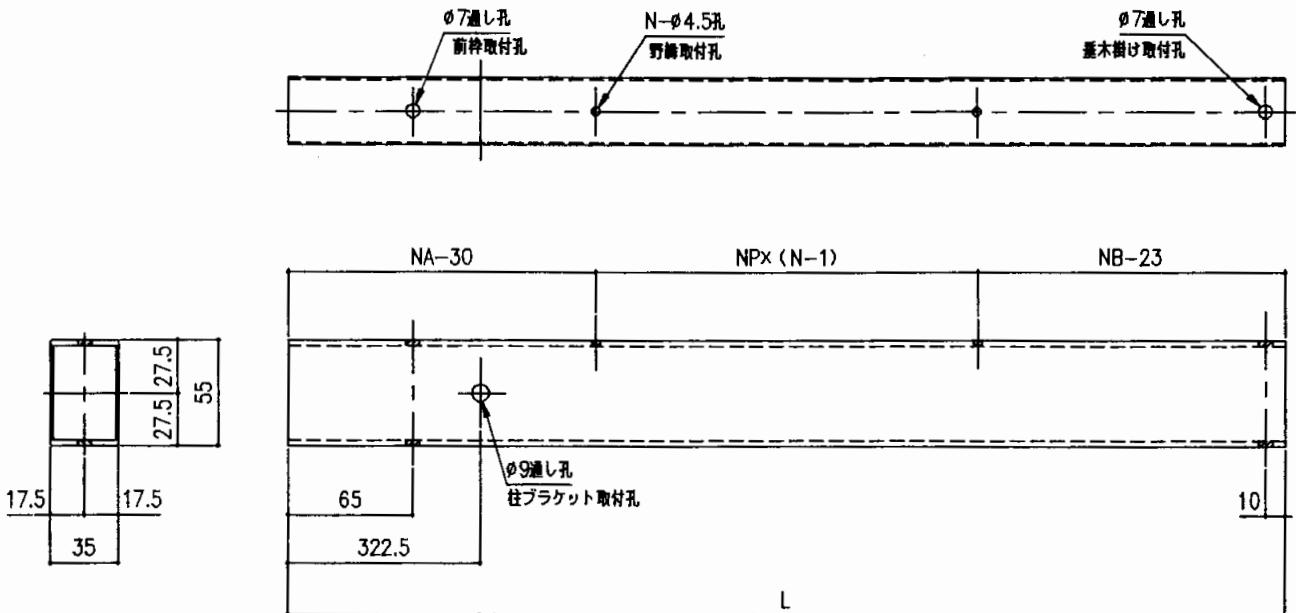
垂木 (2型)



2型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	$NP \leq 600$	$NA = 455 \leq 600$	$NB \leq 600$
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

柱固定垂木 (3型)

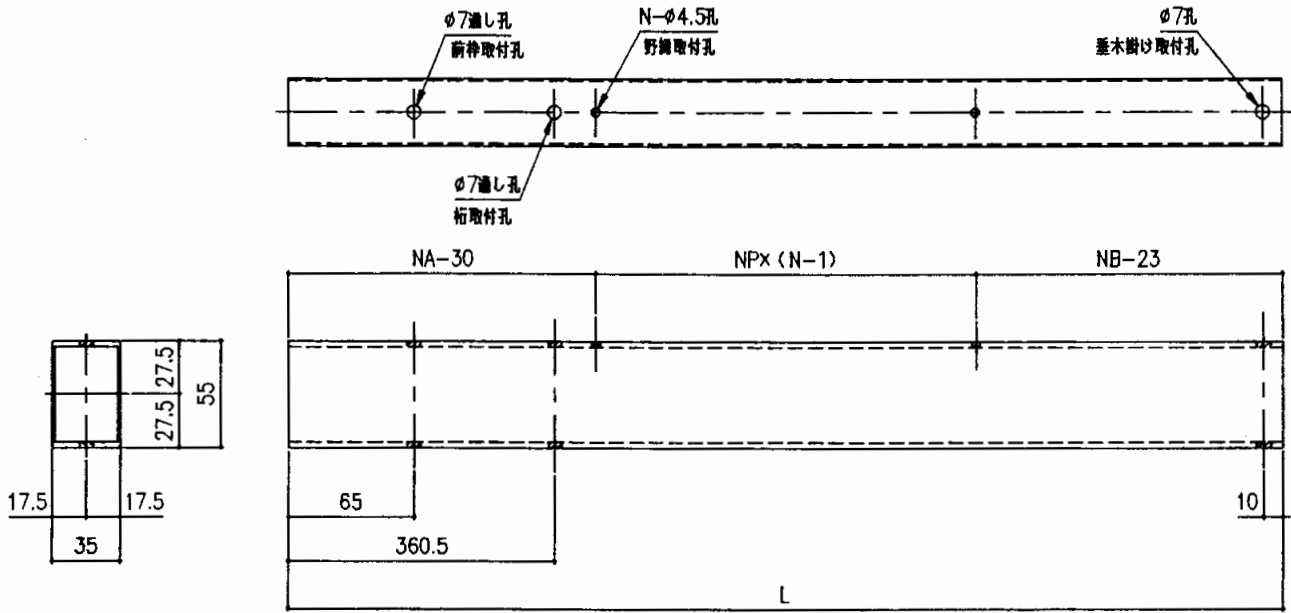


3型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	$NP \leq 600$	$NA = 455 \leq 600$	$NB \leq 600$
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

加工図

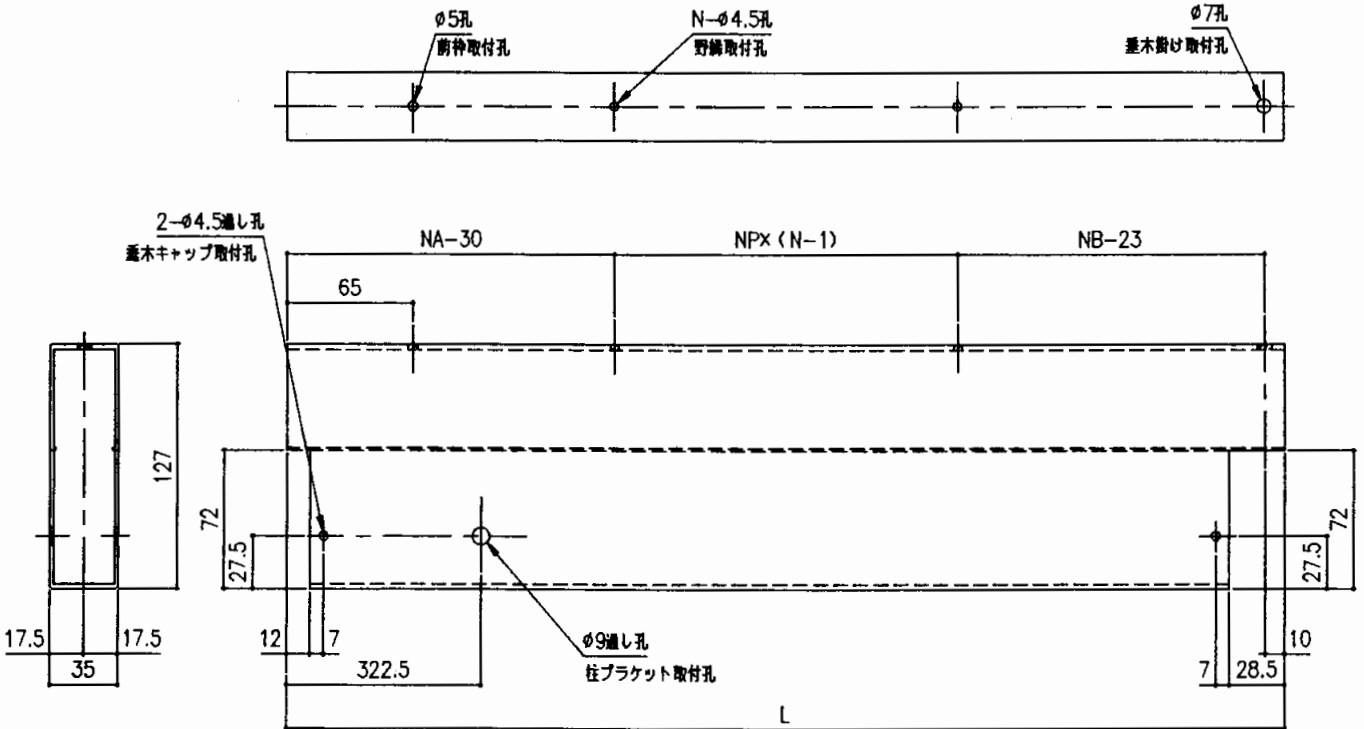
垂木 (3型)



3型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

柱固定垂木 (4型)

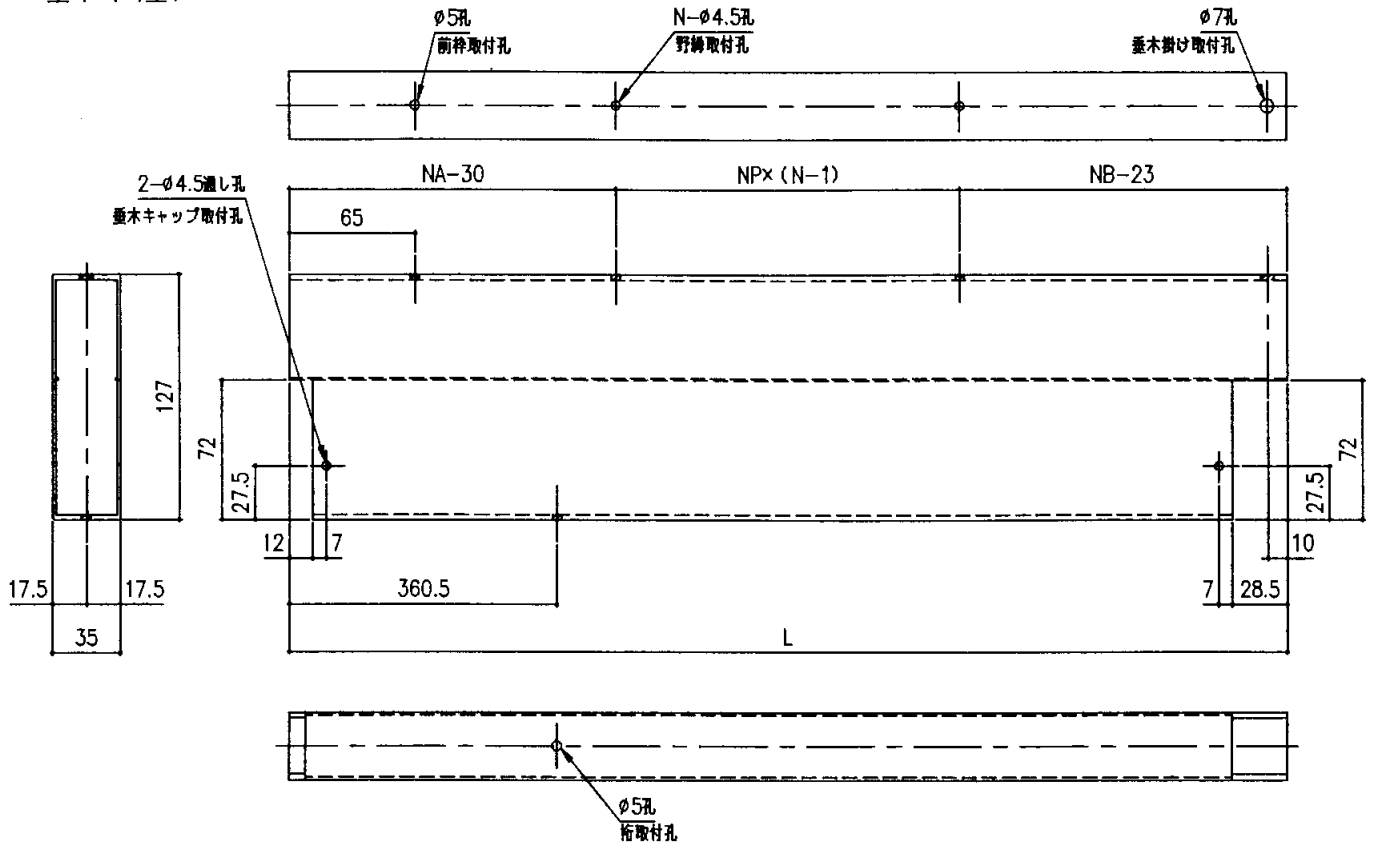


4型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

加工図

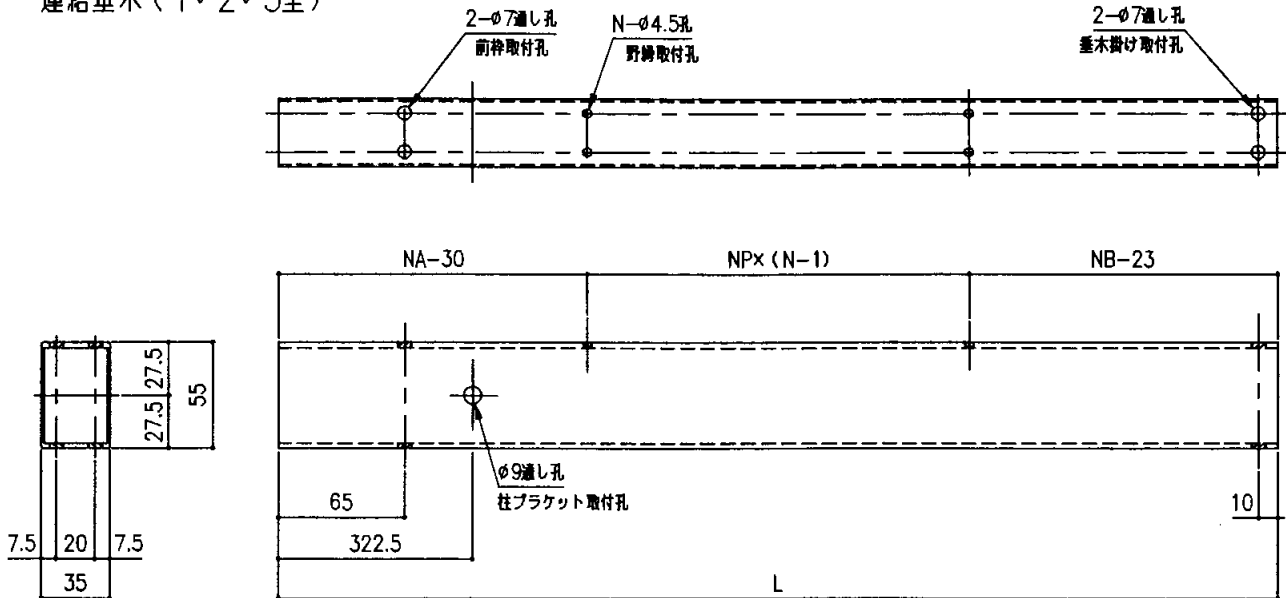
垂木 (4型)



4型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

連結垂木 (1・2・3型)

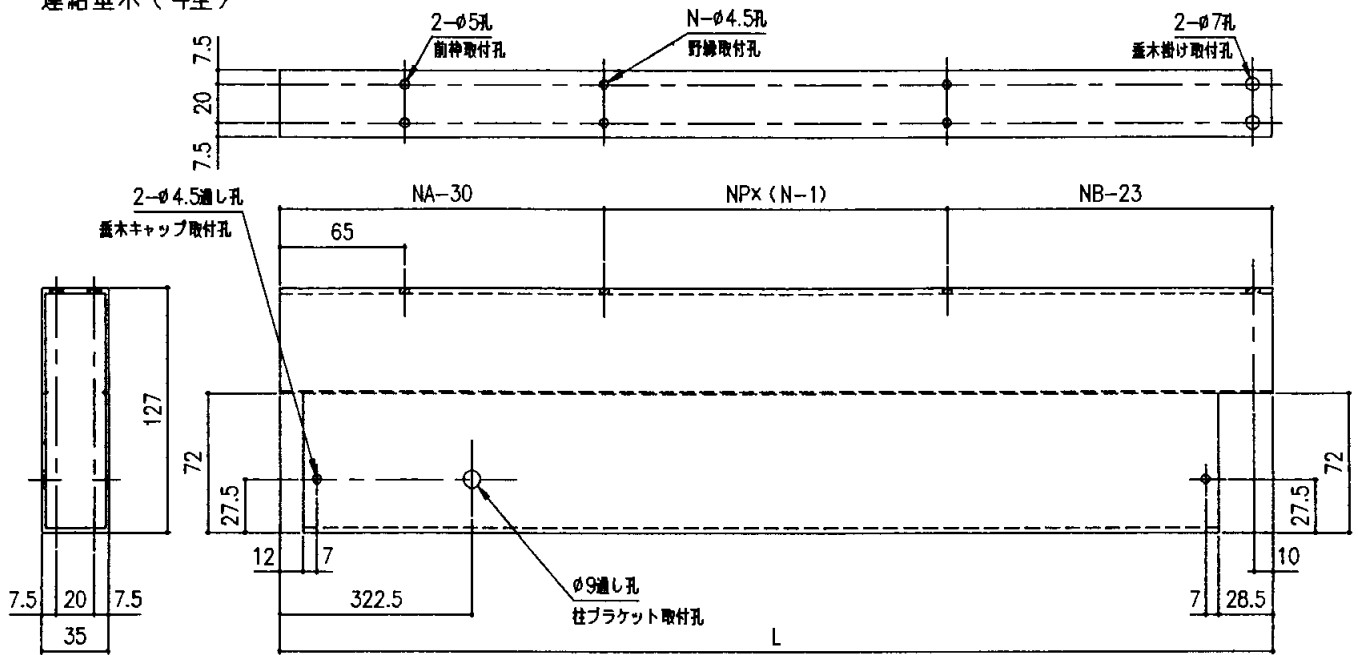


3型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	B=360	NP ≤ 600	NA=455 ≤ 600	NB ≤ 600
2型						
1型						
タイプ	公 式		条 件			

NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

加工図

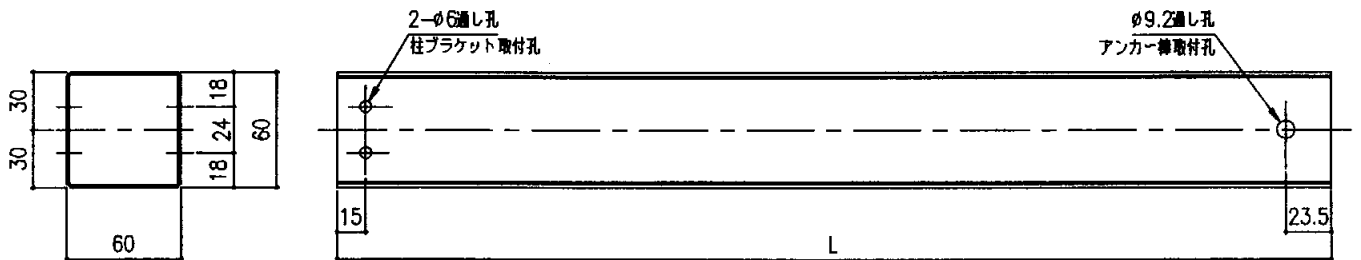
連結垂木 (4型)



4型	YD-53	$YD = (D+B) \div 0.9848$	$B=360$	$NP \leq 600$	$NA=455 \leq 600$	$NB \leq 600$
タイプ	公 式		条 件			

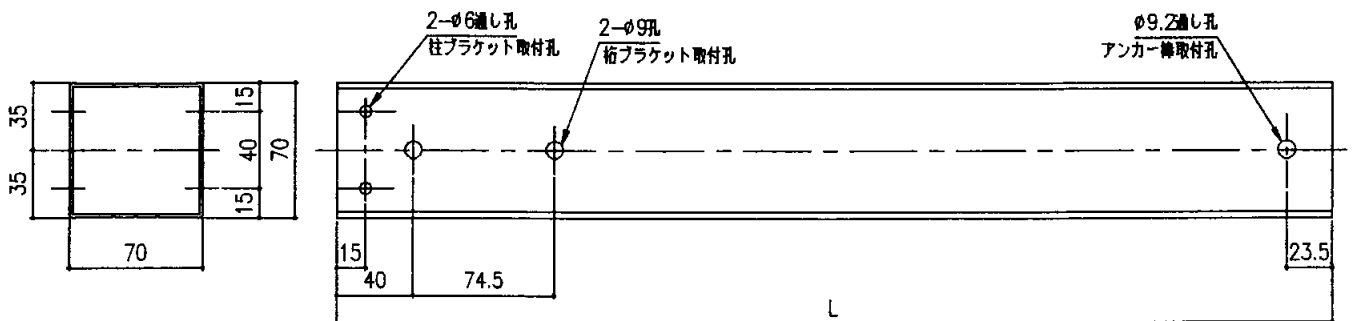
NA・NB・NP=野縁ピッチ
N=野縁本数

柱・中間柱 (1型)



1型	$L = (H+198) - A$	$A = (D \times 0.1763) + 3.5$
タイプ	公 式	

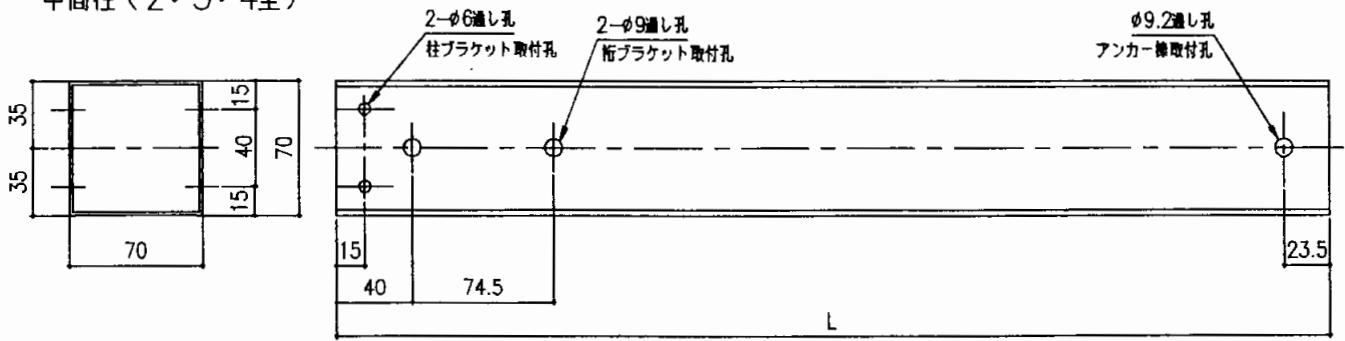
柱 (2・3・4型)



4型	$L = (H+498) - A$	$A = (D \times 0.1763) + 77.5$
3型		$A = (D \times 0.1763) + 4.5$
2型		
タイプ	公 式	

加工図

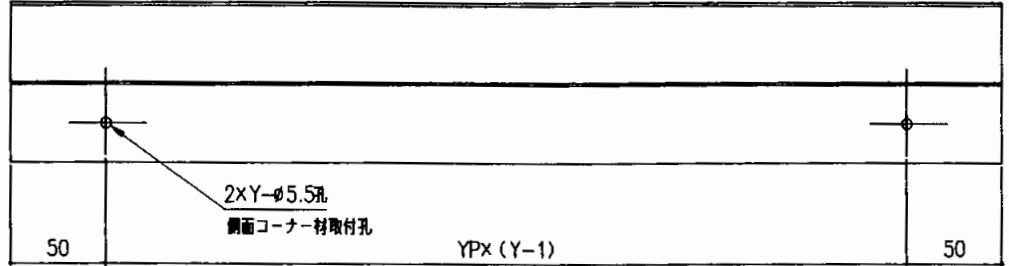
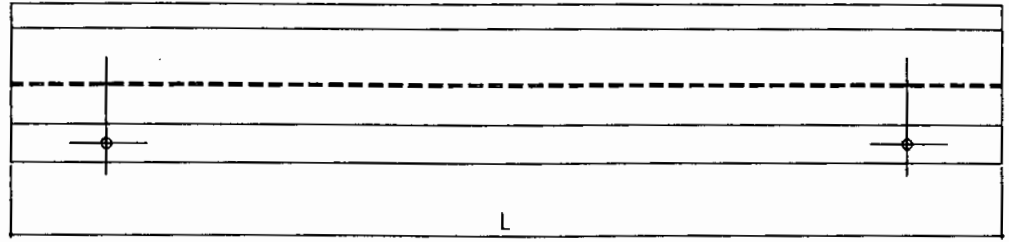
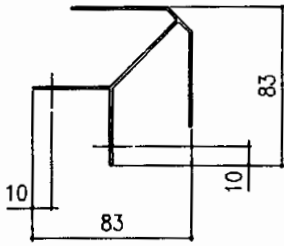
中間柱 (2・3・4型)



4型	L = (H + 498) - A	A = (DX0.1763) + 77.5
3型		A = (DX0.1763) + 4.5
2型		
タイプ	公 式	

加工図

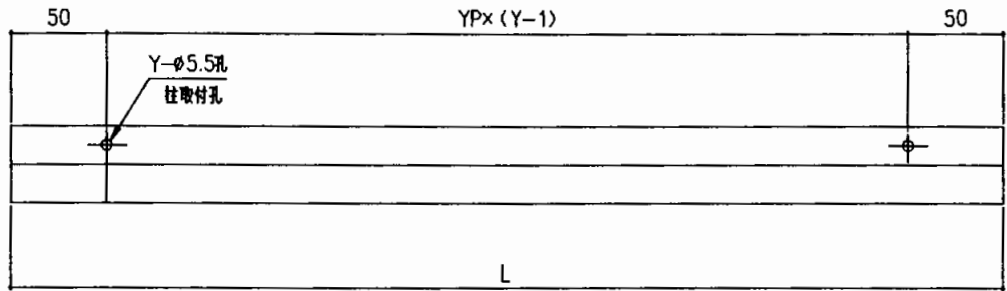
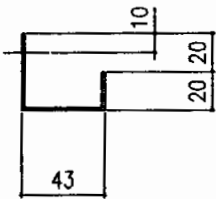
側面コーナー材



$L=h-8$	$YP \leq 500$
公式	条件

YP=取り付けピッチ
Y=ビス本数

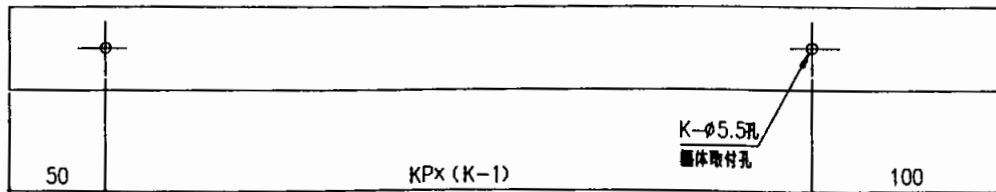
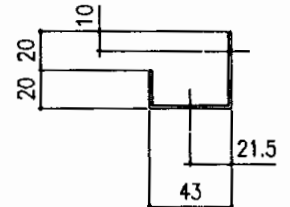
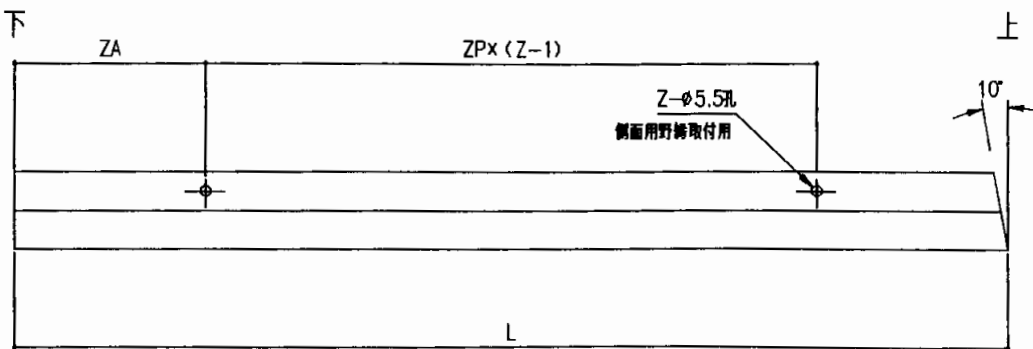
側面端部材 (前面用)



$L=h-8$	$YP \leq 500$
公式	条件

YP=取り付けピッチ
Y=ビス本数

側面端部材 (躯体取付用) 右

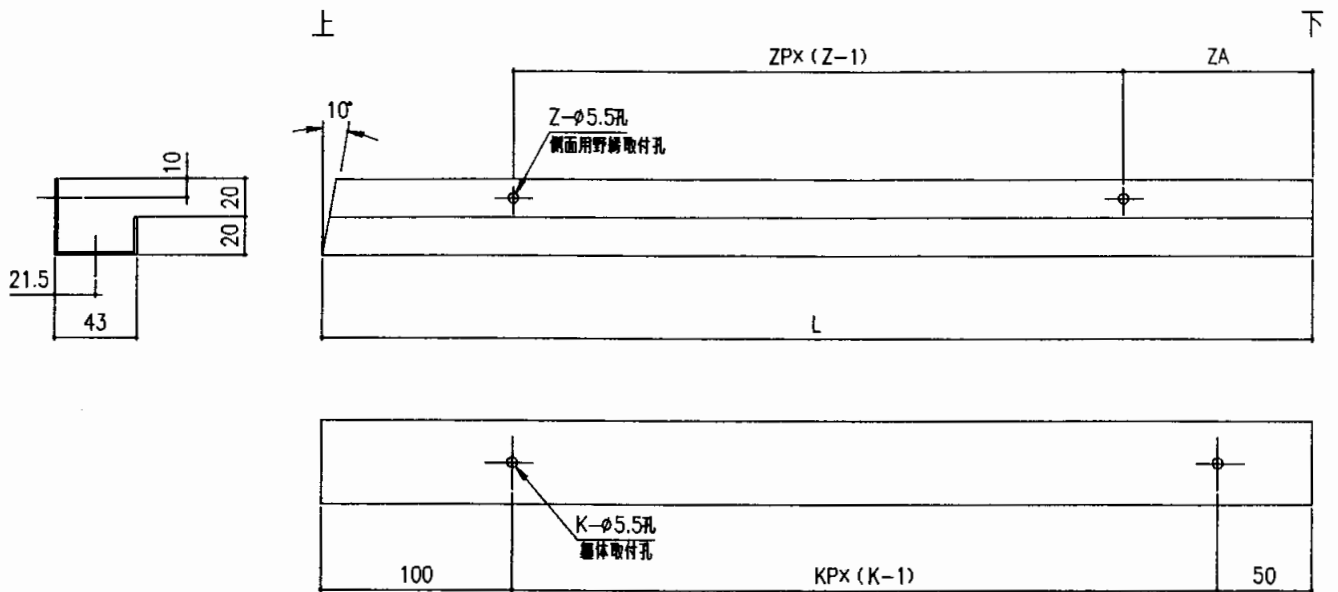


$L=H-102$	$ZP \leq 450$	$150 \geq ZA \geq 80$	$KP \leq 500$
公式	条件		

ZP=側面用 野縁ピッチ KP=躯体取り付けピッチ
Z=側面用 野縁 本数 K=躯体取り付けビス

加工図

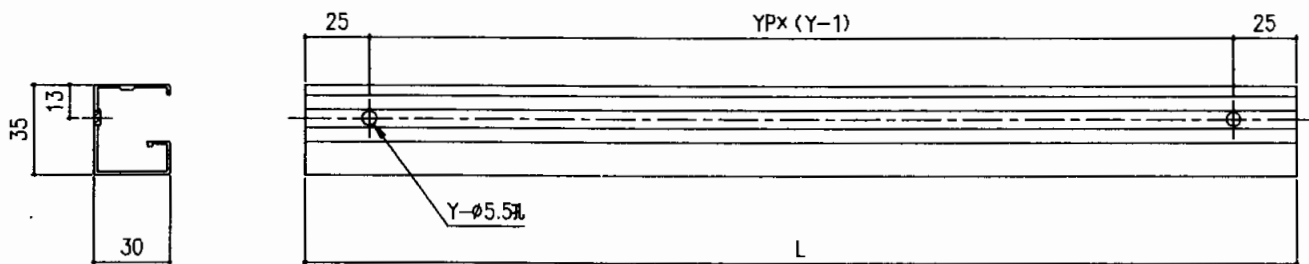
側面端部材（軀体取付用）左



$L=H-102$	$ZP \leq 450$	$150 \geq ZA \geq 80$	$KP \leq 500$
公式	条件		

ZP=側面用 野縁ピッチ KP=軀体取り付けピッチ
Z=側面用 野縁 本数 K=軀体取り付けビス

側面用野縁（前面用）



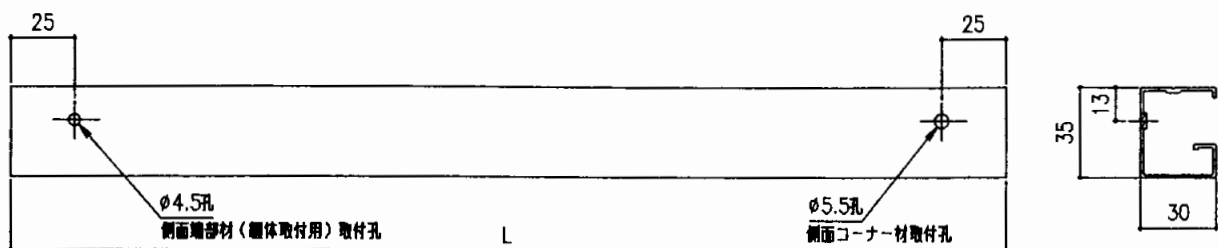
4型	閉西端	$L=W+60$	$YP \leq 1800$
3型	閉東端		
2型	閉東端	$L=W+50$	
1型	閉西端		
タイプ	筒別	条件	

YP=柱ピッチ
Y=柱本数

側面用野縁（奥行用）右

軀体側

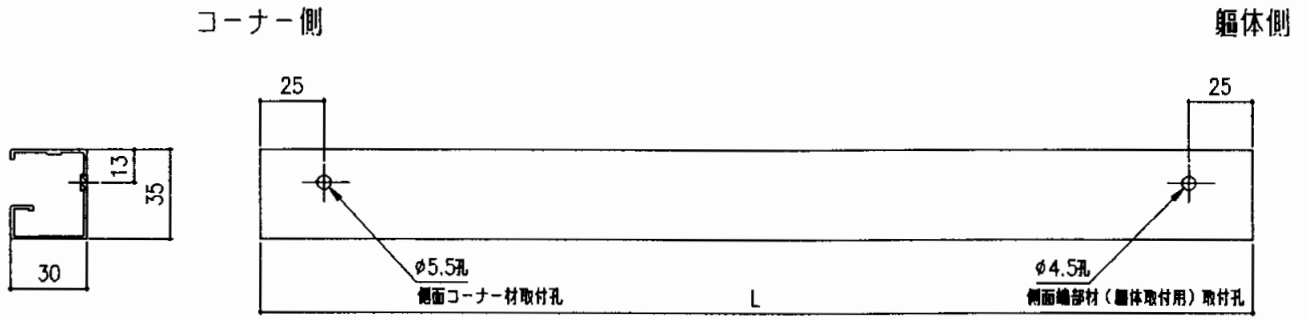
コーナー側



2・3・4・型	$L=D+55$	$YP \leq 1800$
1型	$L=D+50$	
タイプ	公式	条件

加工図

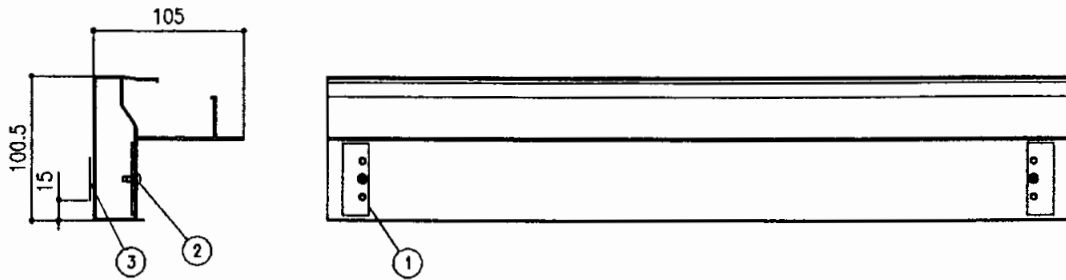
側面用野縁（奥行用） 左



2・3・4・型	$L=D+55$	YP \leq 1800
1型	$L=D+50$	
タイプ	公式	条件

部品取付図

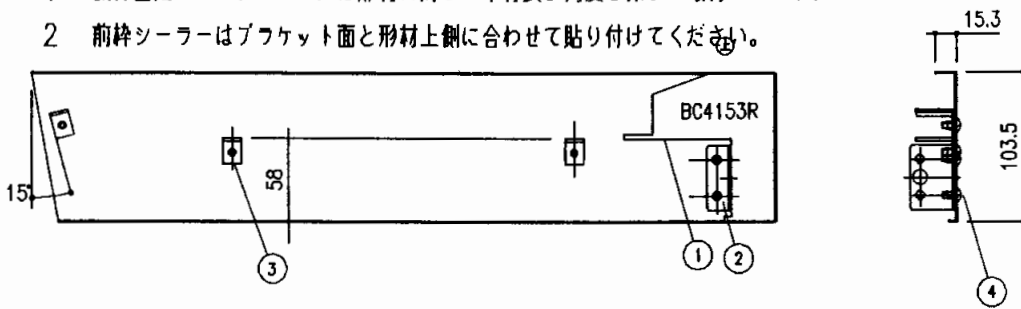
前枠



③	銘板	NM-18	*N	*N	*N	1	貼り付け (右端より150mmくらい)
②	φ4×10ナベックピン3種	3PA4X10S	*K	*K	*S	2	
①	ネジ締ち	BP-1013	*N	*N	*N	2	ビス止め
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

側枠 (右)

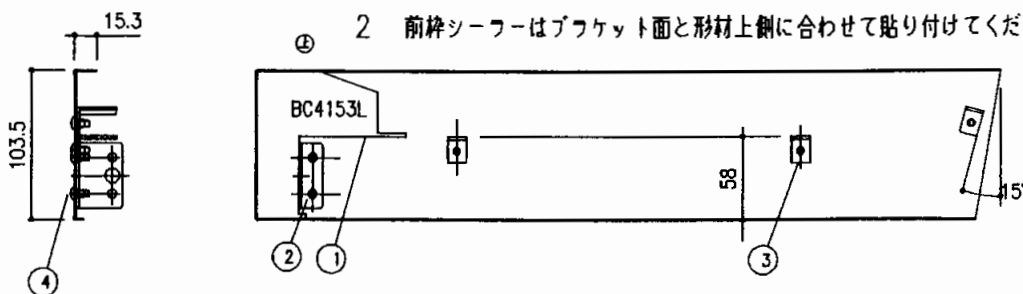
- 側枠固定ブラケット (B) は形材に対して平行及び角度を保って取付けのこと。
- 前枠シーラーはブラケット面と形材上側に合わせて貼り付けてください。



④	φ5×12トラスタップピン3種	3TB5X12S	*K	*K	*S	N	
③	側枠固定ブラケット (B)	LB-1021	BL	*K	*H	N	ビス止め
②	側枠固定ブラケット (A)	LB-1020	BL	*K	*H	1	ビス止め
①	前枠シーラー (右)	BC-4153-R	BL	BL	*F	1	貼り付け
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

側枠 (左)

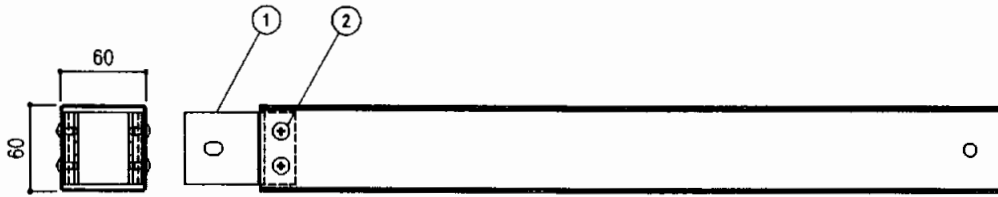
- 側枠固定ブラケット (B) は形材に対して平行及び角度を保って取付けのこと。
- 前枠シーラーはブラケット面と形材上側に合わせて貼り付けてください。



④	φ5×12トラスタップピン3種	3TB5X12S	*K	*K	*S	N	
③	側枠固定ブラケット (B)	LB-1021	BL	*K	*H	N	ビス止め
②	側枠固定ブラケット (A)	LB-1020	BL	*K	*H	1	ビス止め
①	前枠シーラー (左)	BC-4153-L	BL	BL	*F	1	貼り付け
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

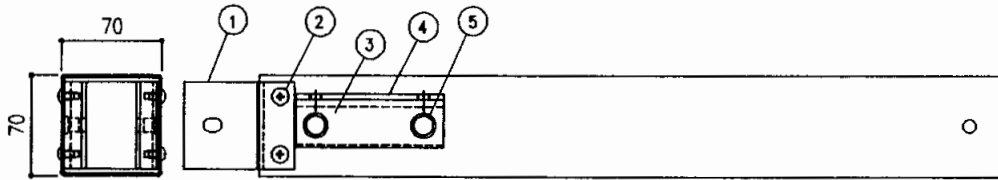
部品取付図

柱 (1型)



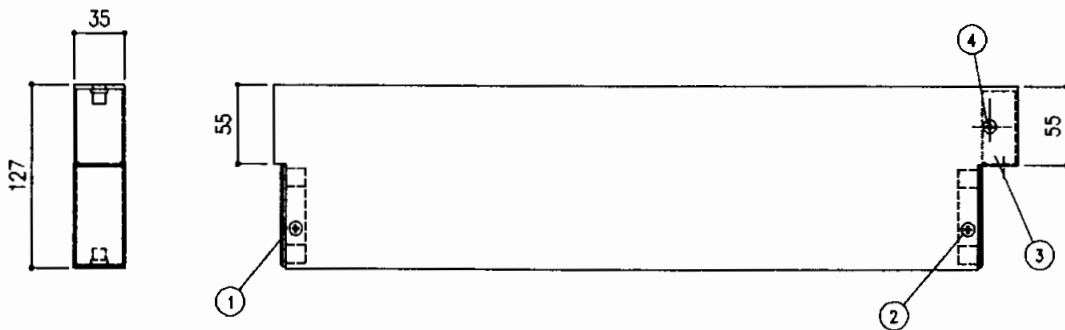
②	φ5×12トラススタッピン3個	3TB5X12S	*K	*K	*S	4	
①	柱固定プレート(A)	AB-1022	BL	*C	*H	1	ビス止め
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

柱 (2・3・4型)



⑤	ボルトM8用	BH08×020S	*S	*S	*S	2	
④	桁取付けプレート	NAB-49	*S	*S	*S	1	ボルト締め
③	桁ネジ締め	AB-1039	*S	*S	*S	1	
②	φ5×12トラススタッピン3個	3TB5X12S	*K	*K	*S	4	
①	柱固定プレート(B)	AB-1023	BL	*C	*H	1	ビス止め
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

垂木 (4型)



④	φ4×12トラススタッピン3個	3TB4X12S	*K	*K	*S	2	
③	垂木補強金具	EB-1164	*N	*N	*N	1	ビス止め
②	φ4×12トラススタッピン1個	1TB4X12S	*K	*K	*S	4	
①	垂木キャップ	NC-137	BL	*C	*H	2	ビス止め
NO	名称	図番	S	C	H	数量	備考
			製品色				

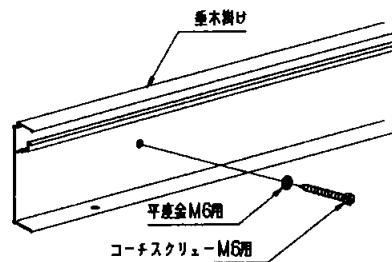
取付方法

1. 垂木掛けの取付け

(1.2.3.4型)

1 テラス取付け位置を確認してから取付面に墨を打ち
電気ドリルで壁面に取付け孔 ϕ 4.5を明けコーチス
クリューで取付けて下さい。

- (注意) ・壁面に明けた下孔には必ずコーキング剤を充
て込んで下さい。
・建物への取付けは必ず柱、間柱、胴差などに
固定して下さい。

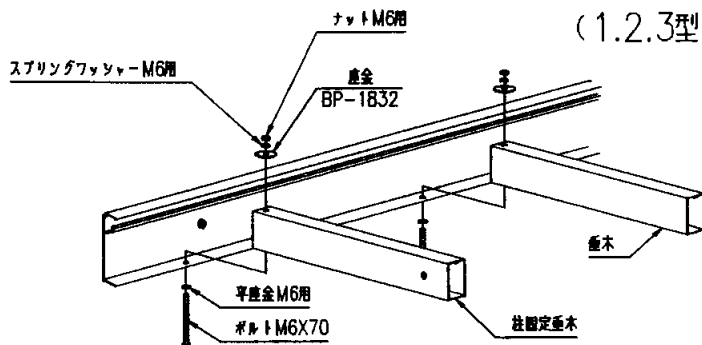


2. 柱固定垂木の取付け

(1.2.3型)

1 垂木掛けに柱固定垂木を
取付けて下さい。

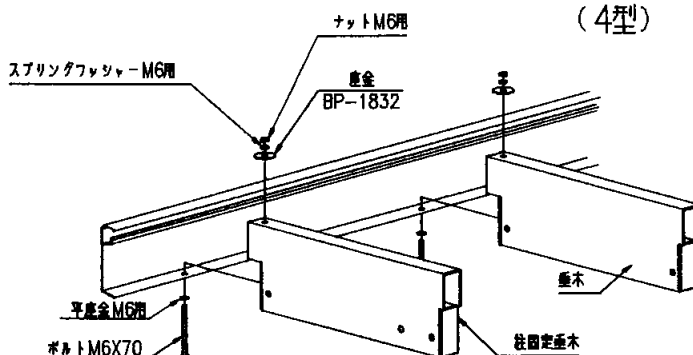
- (注意) ・座金は垂木へこみ防止部品
ですので必ず使用して下さい。



6. 垂木の取付け

1 垂木掛けに垂木を取付けて
下さい。

(4型)



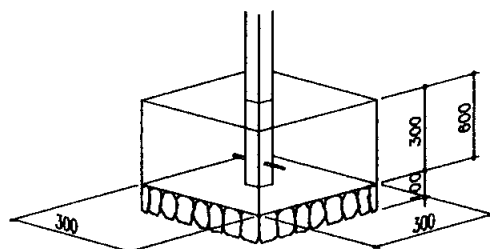
3. 基礎の施工

(1型)・・・300

(2.3.4型)・・・600

- 1 コンクリート施工は骨組完了後に行なって下さい。
- 2 柱の固定位置は基本納まり図を参照して下さい。
- 3 必ず柱アンカー棒を使用して下さい。

- (注意) ・地下埋設物に影響を及ぼさない様に考慮してく
ださい。
・海砂を使用するときは十分水洗いした物を使用
してください。

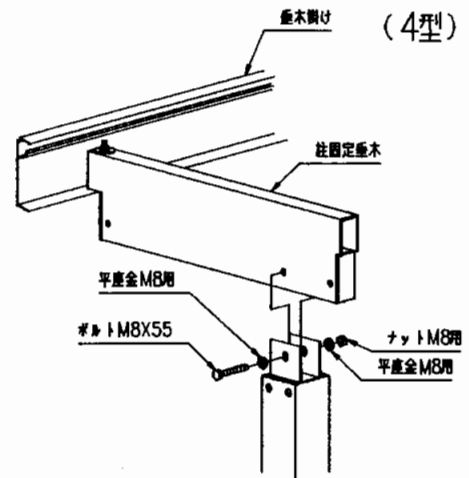
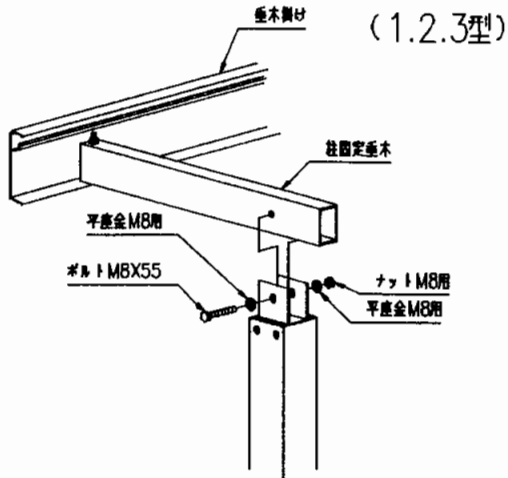
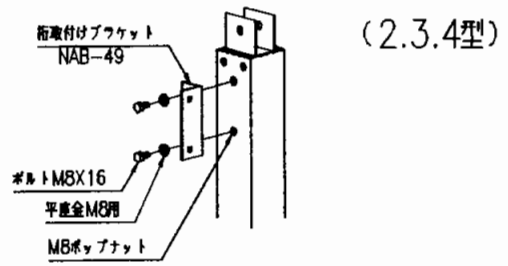


取付方法

4. 柱の取付け

- 1 柱に桁取付けブラケットを取付けて下さい。
- 2 柱固定垂木に柱を取付けて下さい。

注意：間口2.5間には間柱がつきます。

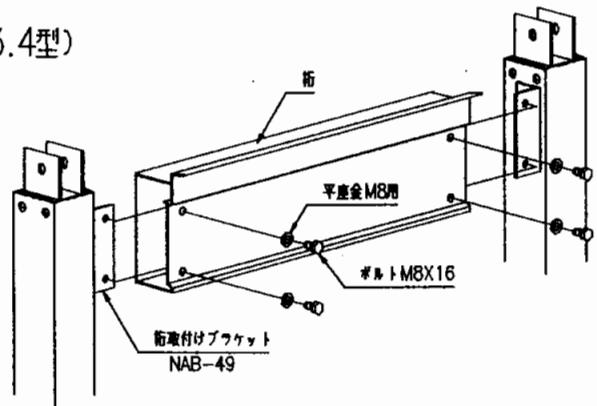


5. 桁の取付け

- 1 柱に桁を取付けて下さい。

注意：間口2.5間には間柱がつきます。

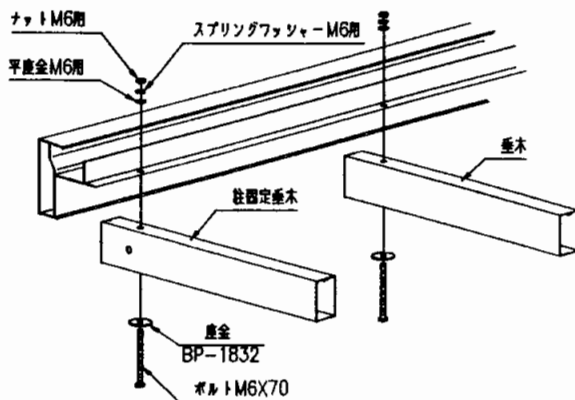
(2.3.4型)



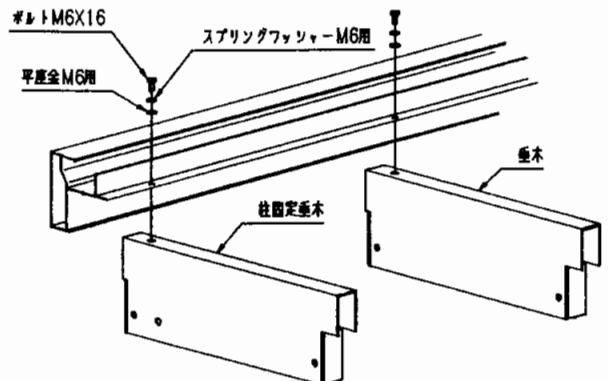
7. 前枠の取付け

- 1 柱固定垂木に前枠を取付けて下さい。

(1.2.3型)



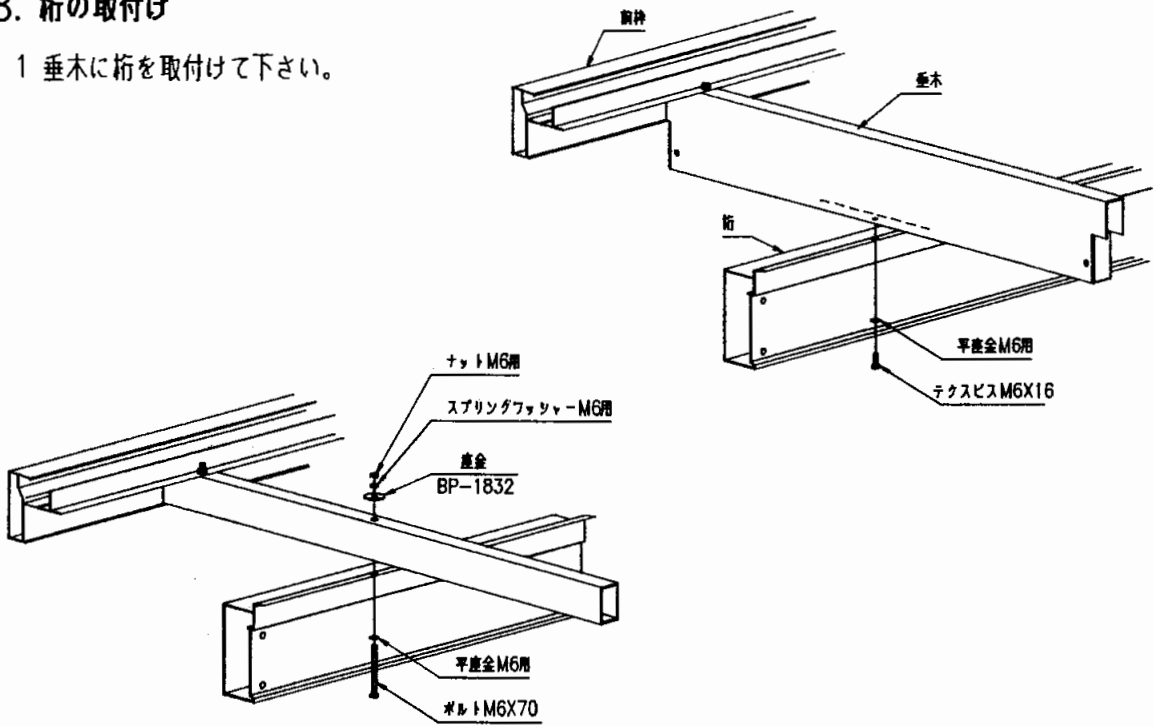
(4型)



取付方法

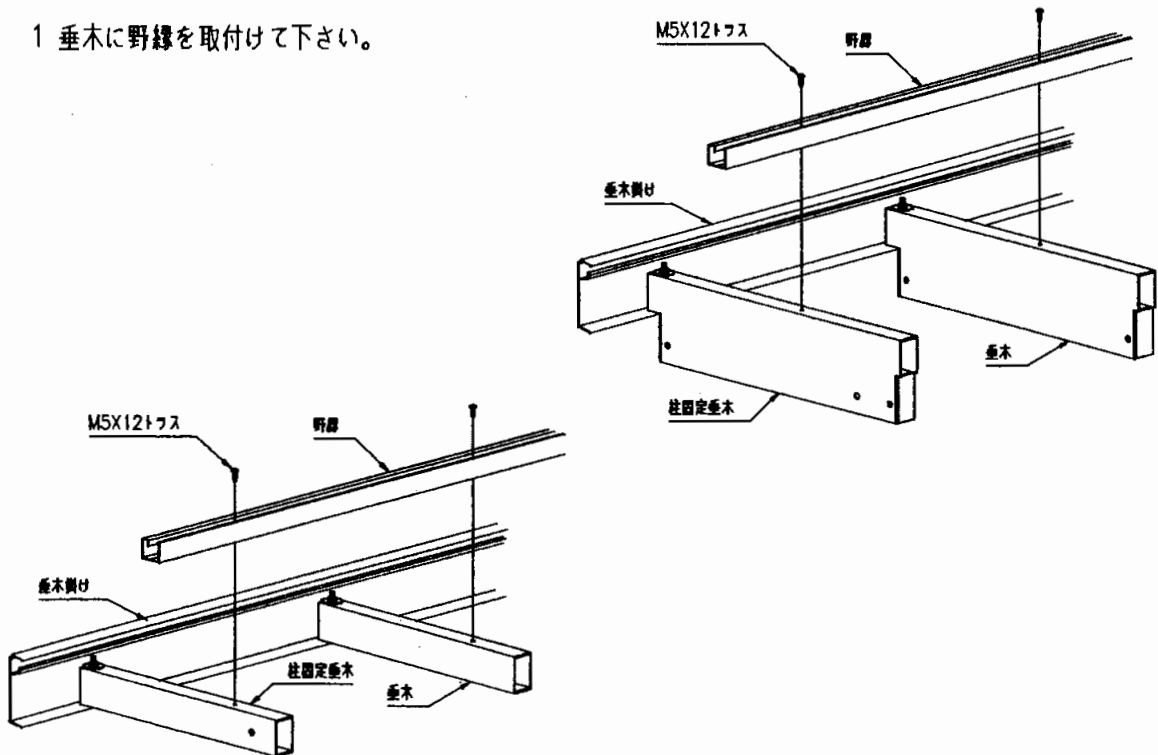
8. 桁の取付け

1 垂木に桁を取付けて下さい。



9. 野縁の取付け

1 垂木に野縁を取付けて下さい。



取付方法

10. 側枠の取付け

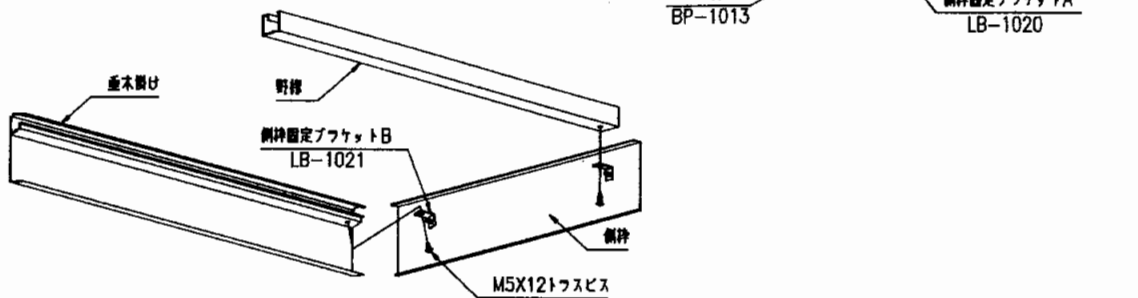
1 各部材の下面にブラケットを当てて下さい。

(注意) ・側枠には左右がありますので注意して下さい。

・野縁の中にブラケットを差込まないで下さい。

2 野縁に側枠を取付けて下さい。

3 垂木掛け及び前枠に側枠を取付けて下さい。



11. コーキング

1 垂木掛け上端と壁面にコーキング剤を
充てんして下さい。

12. 柱の固定

1 柱、前枠の垂直、水平及び屋根角度を確認のうえ
コンクリート施工して下さい。

13. 面材(波板)の取付け

1 波板を垂木掛けに差込んで下さい。

2 波板をわん曲にして前枠に差込んで下さい。

3 波板止めフックの取付け位置にドリル(7~8mm)で孔明け
して下さい。

(野縁1本に対して波板1枚当たり4ヶ所… \approx 200mmピッチ)

4 波板止めフックを波板の孔に差込み、90°回転させて野縁と
固定して下さい。

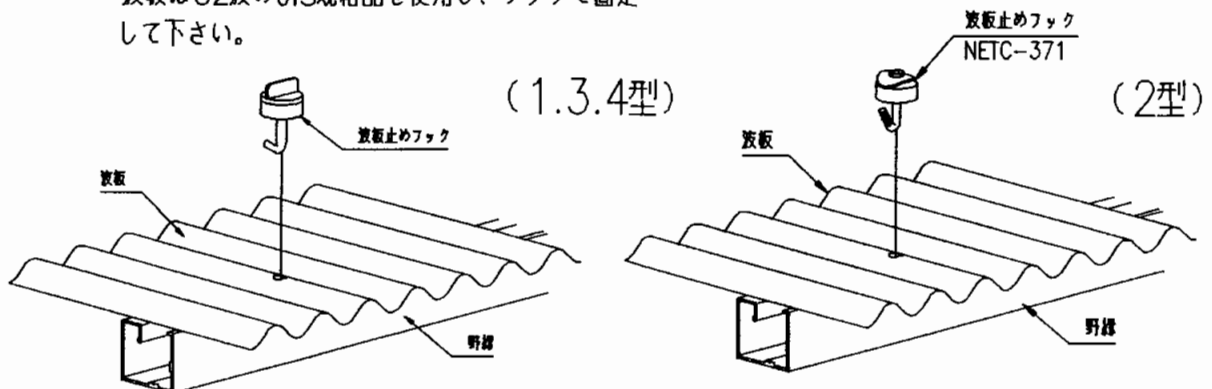
(注意) ・波板の重ね代は2山以上にして下さい。

・垂木以外の所には乗らないで下さい。

・波板は32波のJIS規格品を使用し、フックで固定
して下さい。

(注意) ・波板の枚数は屋根長さを600mm
で割って切り上げて下さい。

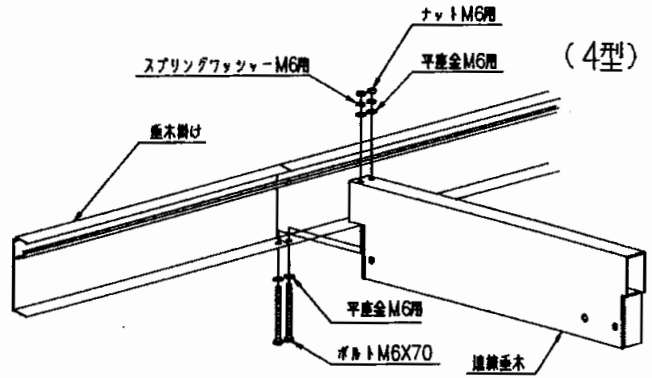
(波板W寸法は660mmです。)



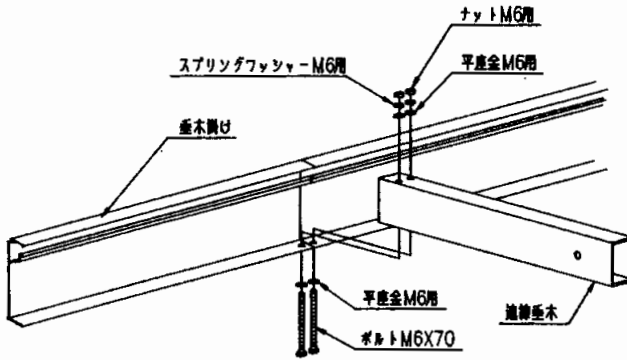
取付方法

14. 連棟部

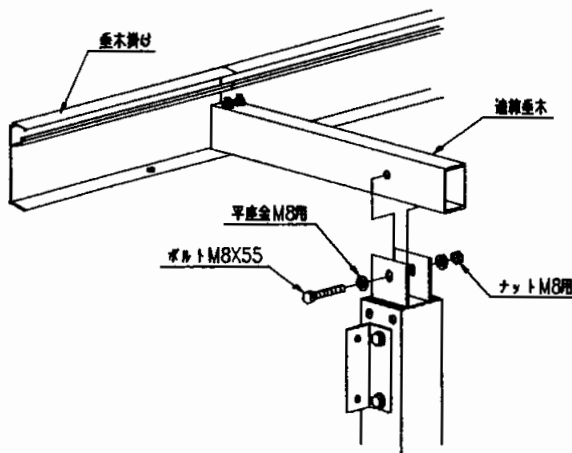
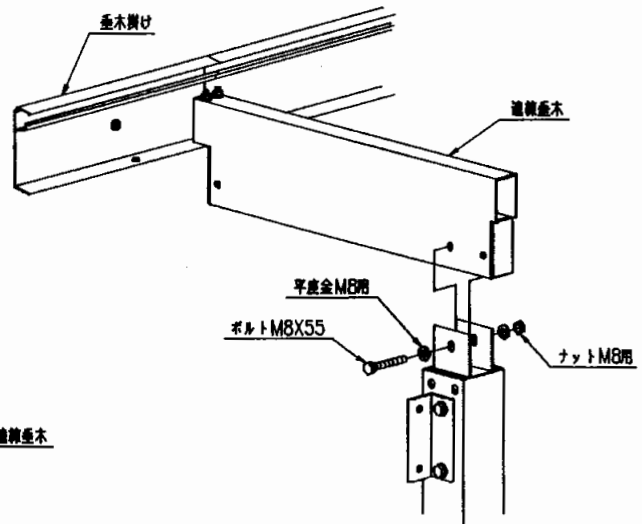
1 垂木掛けに連棟垂木を取付けて下さい。



(1.2.3型)

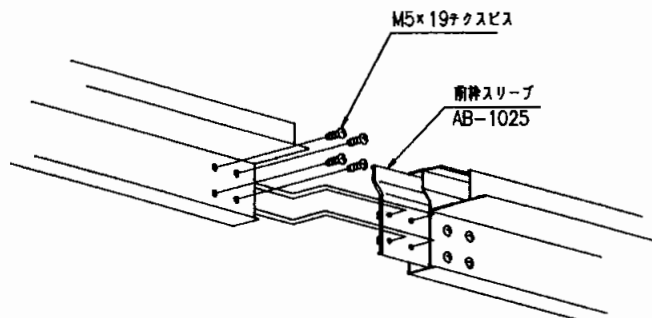


2 連棟垂木に間柱を取付けて下さい。



取付方法

4 前枠にジョイントスリーブを取付けて下さい。



5 前枠に連結用部品を取付けて下さい。

